

事業計画及び成長可能性に関する事項

2025年6月

AIAI

AIAIグループ株式会社

証券コード：6557

1. 会社概要
2. ビジネスモデル
3. 市場環境
4. 競争力の源泉
5. 事業計画
6. リスク情報

1. 会社概要

AIA

企業名	AIAIグループ株式会社
代表者	代表取締役社長兼CEO 貞松 成
事業ミッション	人口問題を解決する
設立	2007年1月
グループ事業内容	認可保育施設、多機能型施設（児童発達支援、保育所等訪問支援）の運営等
売上高	130億円（2025年3月期 連結）
従業員数	1,992人（2025年3月期 連結）
上場証券市場	東京証券取引所（グロース）（証券コード：6557）
所在地	東京都墨田区錦糸1丁目2番1号
Webページ	https://aiai-group.co.jp/

Policy / Mission / Vision

AIAI

© AIAI Group Corporation

多様な子どもたちが生まれ持った素晴らしい力を発揮できる社会の実現を目指し、グループ企業の事業間シナジーを最大限に高めるとともに、「AIAI三育圏」の拡大を通じて社会に貢献し続けてまいります。

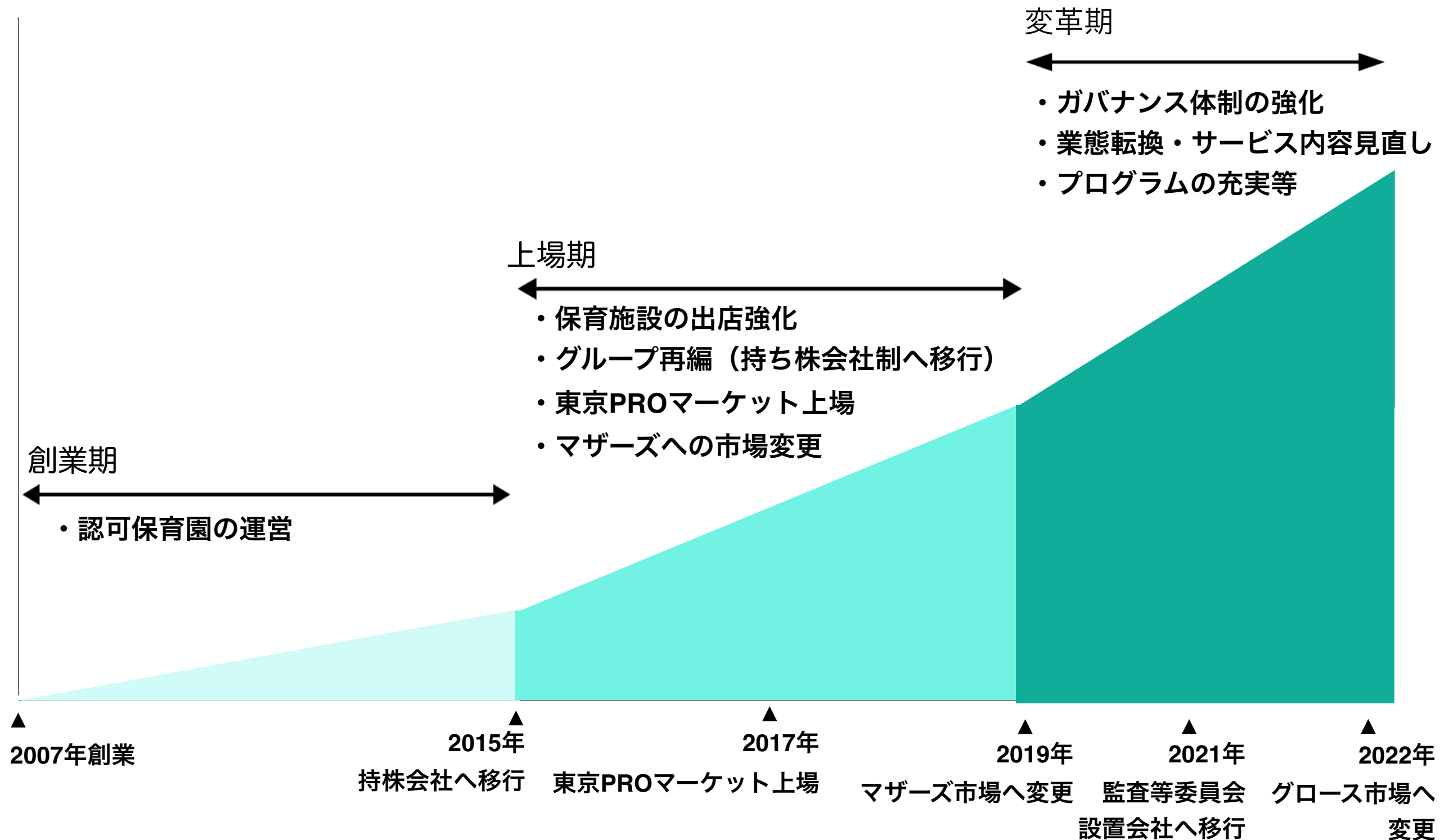
経営理念	社会課題を解決し、世の中に貢献する	保育理念	一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と元気が溢れた園を創造すること
行動指針	誠実であること 貢献からの利益を追求すること 自らを世界に貢献できる人間へと向上させること 目標達成への努力を惜しまず、諦めないこと	保育方針	周りの人と関係を築く 周りの人の力になれる 周りの人に応援される
社 是	関わる全ての人々に自分の存在価値を高めること	療育理念	全ての子どもが楽しく過ごせる社会をつくる
社 訓	–愛– 思いやりを持った優しき心と優しき行動を持つこと –心– 相手の立場に立って物事を考えること –絆– 一期一会の精神で出会いや絆を大切にすること	療育方針	理論と実践を集約した科学的根拠に基づく療育を提供する 保育所等に通う子どもの集団適応能力を向上させる 個別から小集団まで段階的に療育を提供する

グループのあゆみ

AIAI

© AIAI Group Corporation

売上規模



2. ビジネスモデル

AIA

事業の概要

東京都、千葉県、神奈川県、大阪府で認可保育（AIAI NURSERY）と児童発達支援（AIAI PLUS）を主な業態とし、「保育」と「療育」と「教育」の3つの「育」を一体的に提供する「AIAI三育圏」を展開。

「AIAI三育圏」とは、AIAI NURSERYが提供する「保育」、AIAI PLUS/VISITが提供する「療育」、CHaiLDが提供する「教育」の3つの事業のシナジー効果を最大化させる取り組みです。

保育、療育、教育の各事業が互いに補完し合い、より多様な子どもとその保護者へのサポートを実現します。

現在、全体の6～7%に当たる子どもが、発達に何らかの問題や障害を抱えているといわれています。しかし、保育園や幼稚園には小学校や中学校のような通級支援や特別支援学級がありません。さらに保育園児は、原則として両親が共働きです。結果として特別な保育や支援が必要な子どもたちが、適切な制度がないために不利益を受けています。

こうした制度のはざまにいる子どもたちへのサポートを補完するのが「保育 × 療育」のシナジーです。

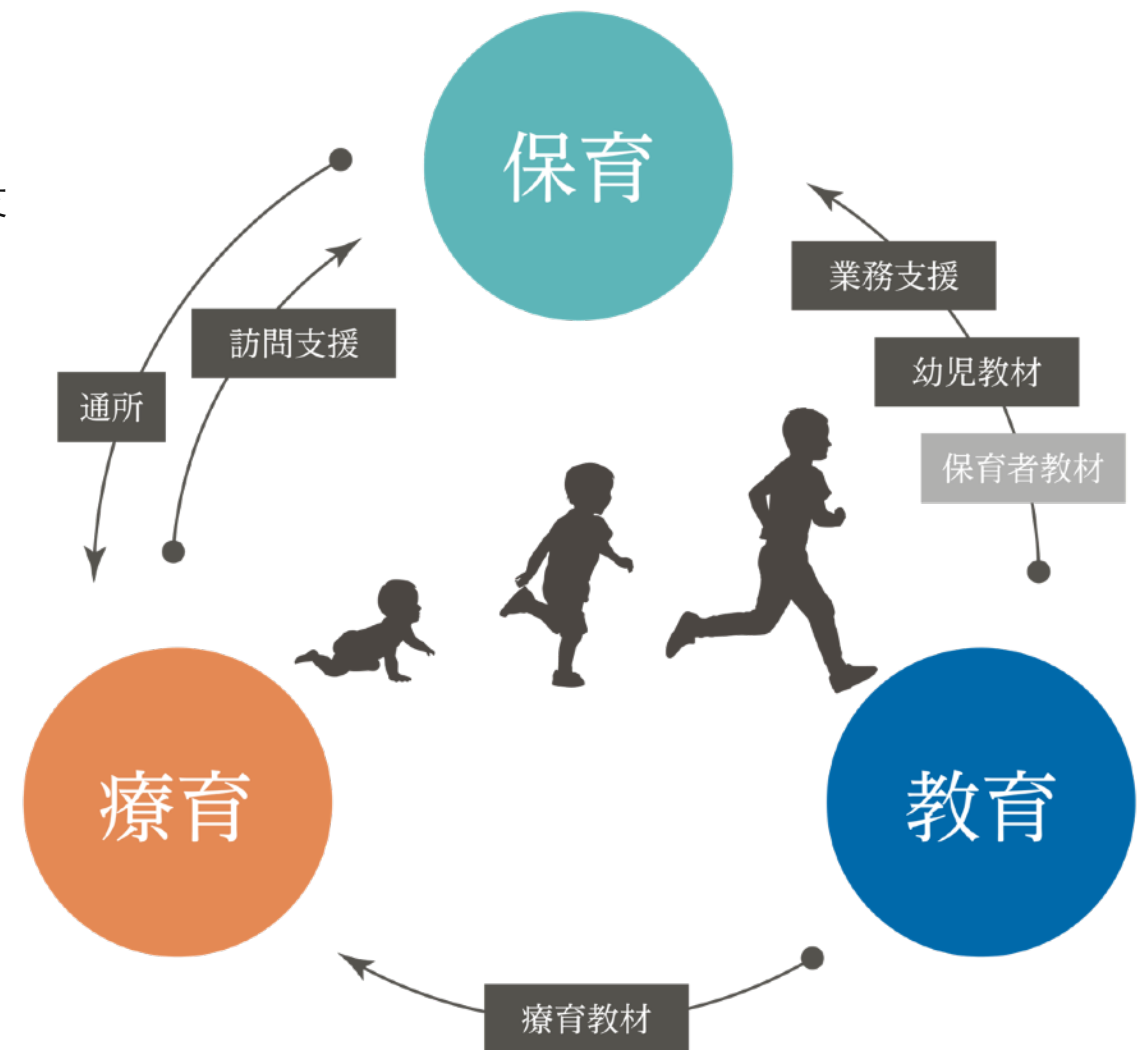
グループ内の多機能事業所・AIAI PLUSとAIAI NURSERYとのスムーズな連携によって、こうした子どもたちとその保護者に十分なサポートを提供していきます。

また、保育園では従来、小学校入学前に基礎的な学習をサポートする就学前支援がきちんとなされてきませんでした。

しかし、保育園に通った子も、幼稚園に通った子も、同じように小学校に進みます。

両親が働いていてAIAI NURSERYに通う子も「保育 × 教育」のシナジーによって小学校への準備をできるようにしていきます。

これらを一体的に提供し、多様な子どもたちをより強くサポートし、新しい価値を生み出していきます。



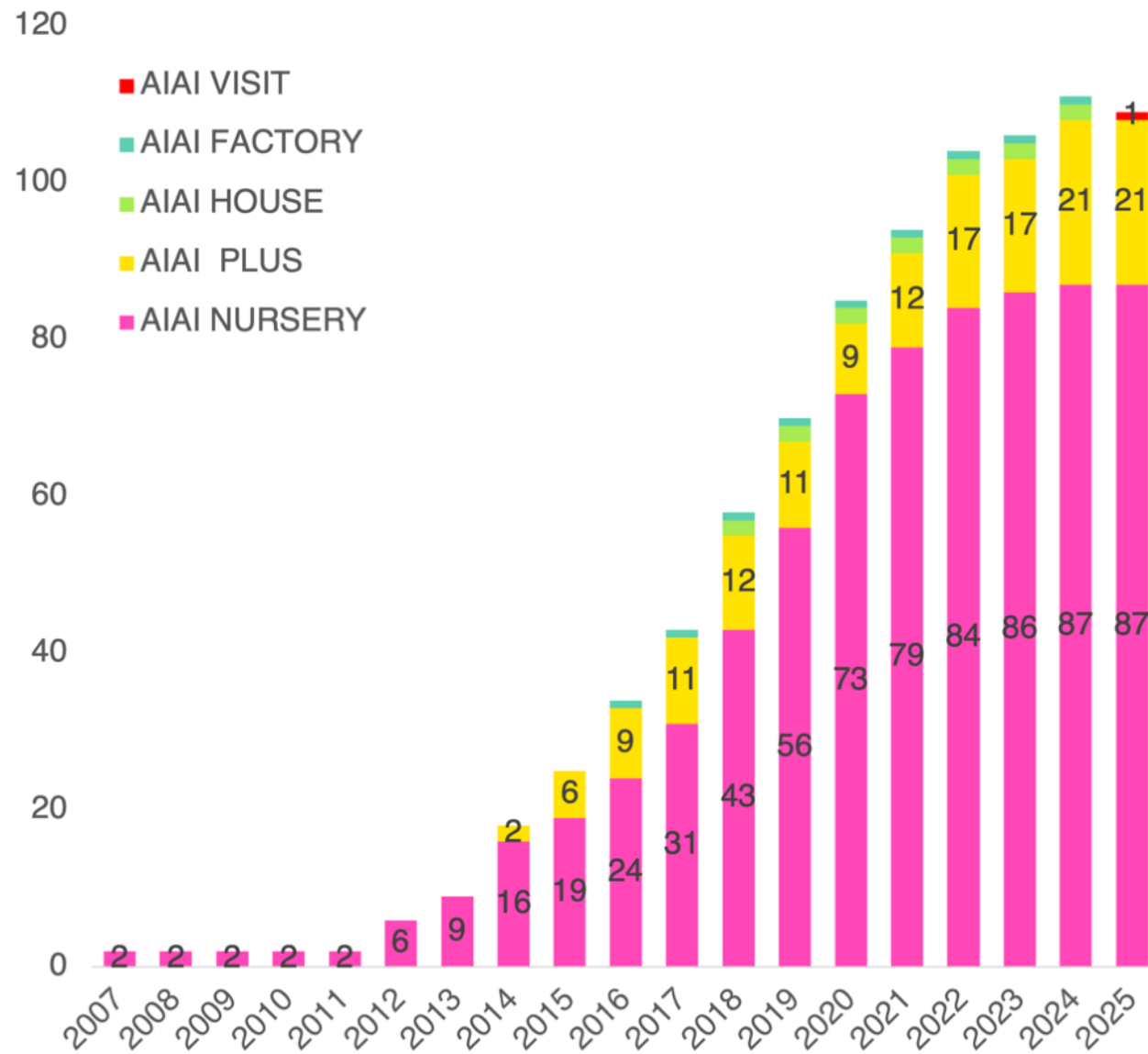
施設数・売上高の推移

AIAI

© AIAI Group Corporation

施設数

(施設)

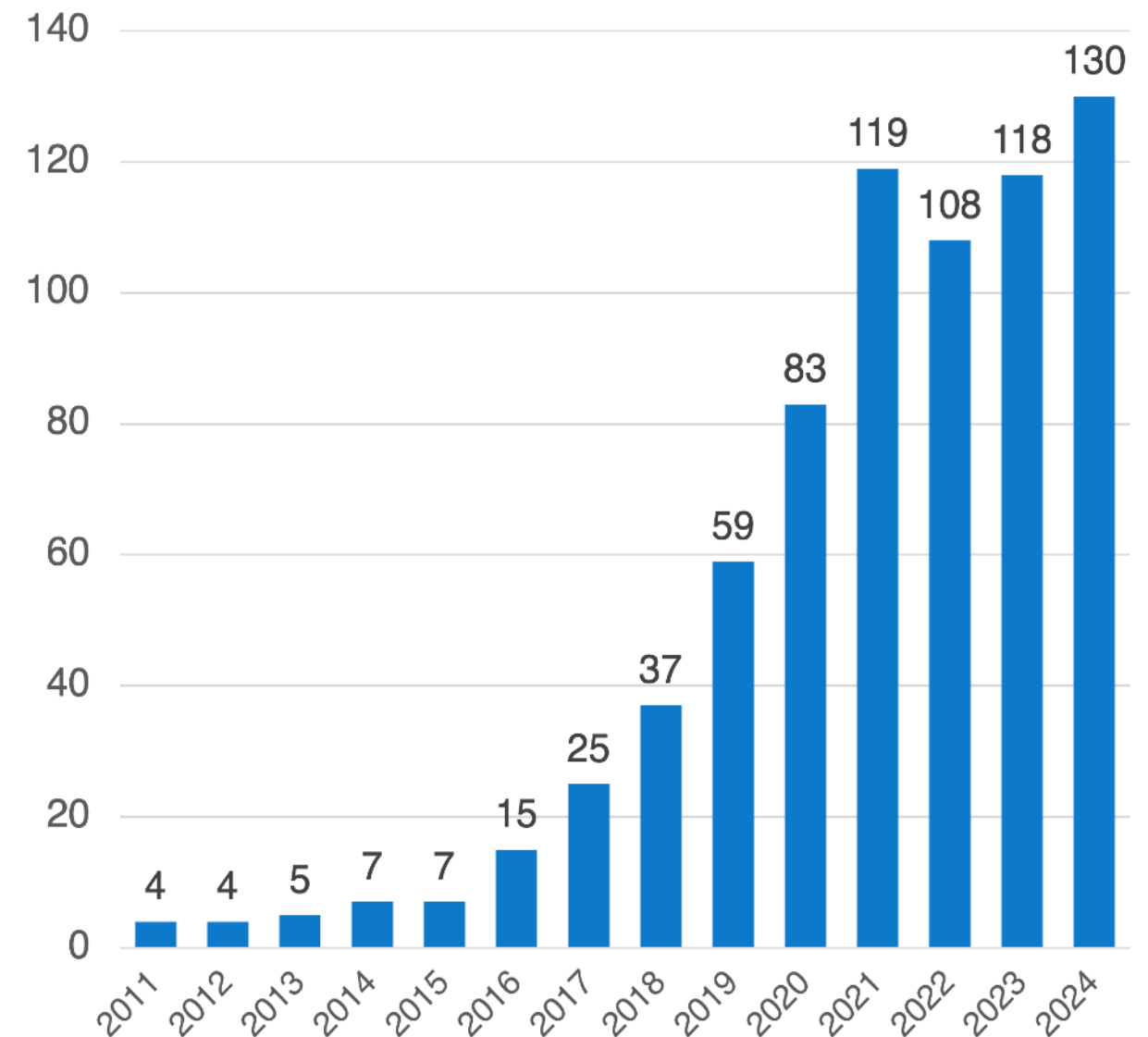


* 施設数は各年4月時点。

* AIAI HOUSE、AIAI FACTORYの運営会社・AIAI Life Care株式会社は2024年5月に株式会社QLSホールディングスに株式譲渡

売上高

(億円)

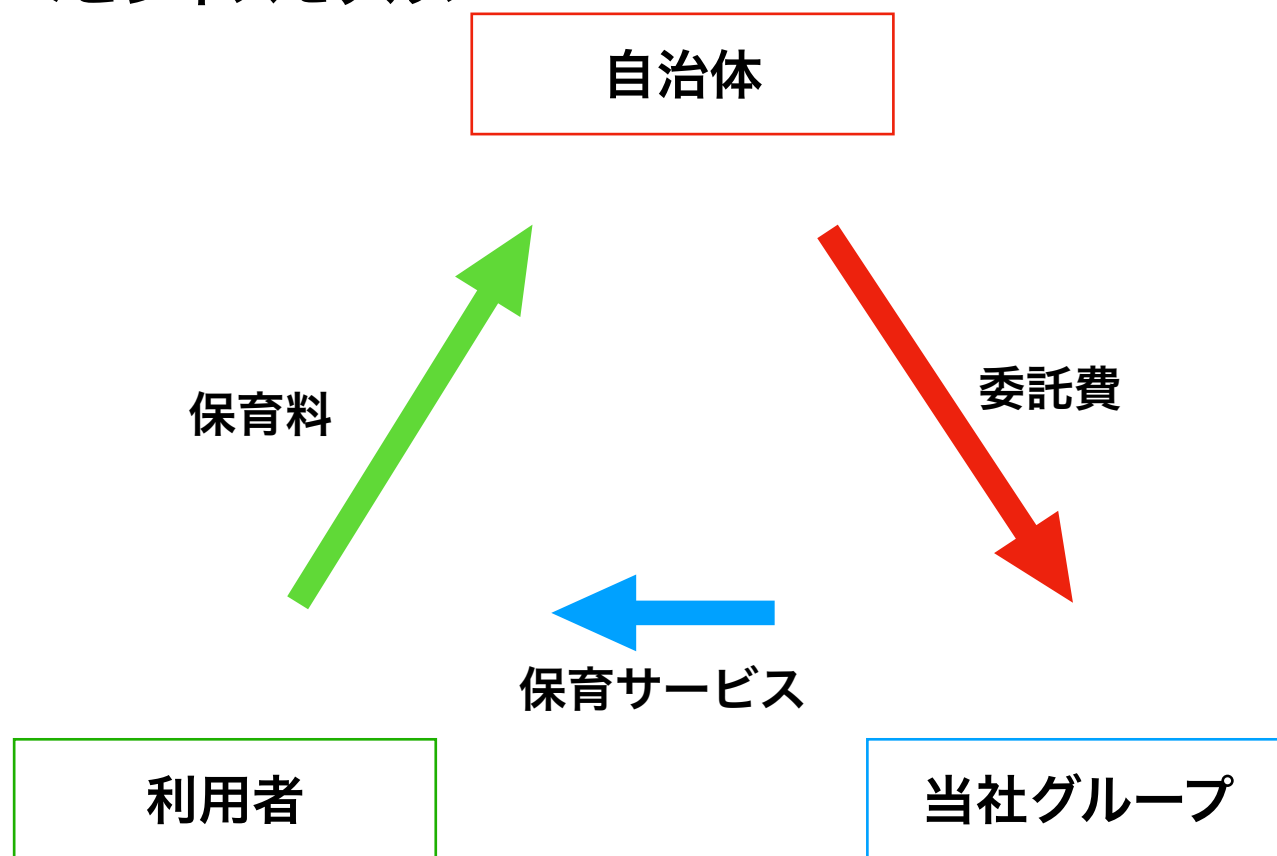


* 単位未満切捨、2021年度は15ヶ月の変則決算

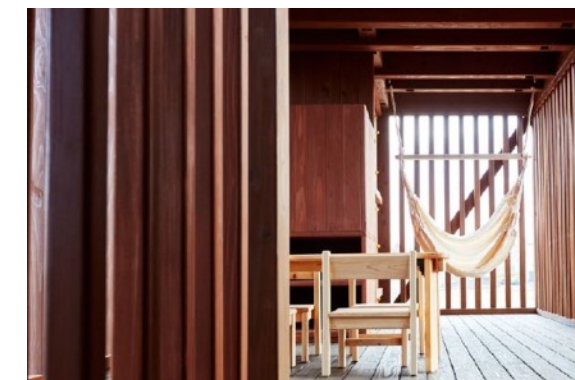
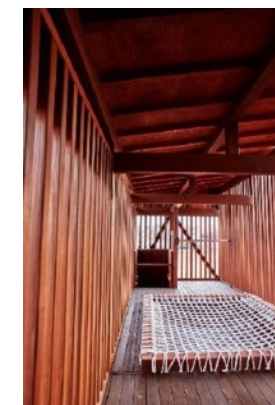
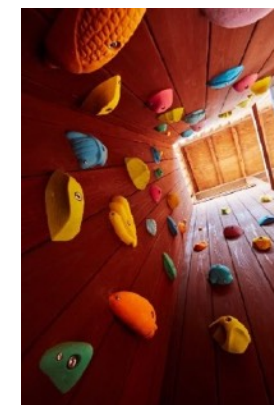
主なビジネスモデル AIAI NURSERYの概要

- ・千葉県・東京都・大阪府及び神奈川県に認可保育園を開設。
- ・就学支援のために建物内に学習室を設置しているほか、大型遊具AINI、AINI BOXにより、子どもの基礎体力の向上を図るとともに、認知度の向上にも寄与。
- ・特色ある幼児教育プログラム（知識教育、思考教育）を導入。
- ・自社の運営管理システムによってペーパーレス化を推進、保育士の事務作業を削減。

<ビジネスモデル>



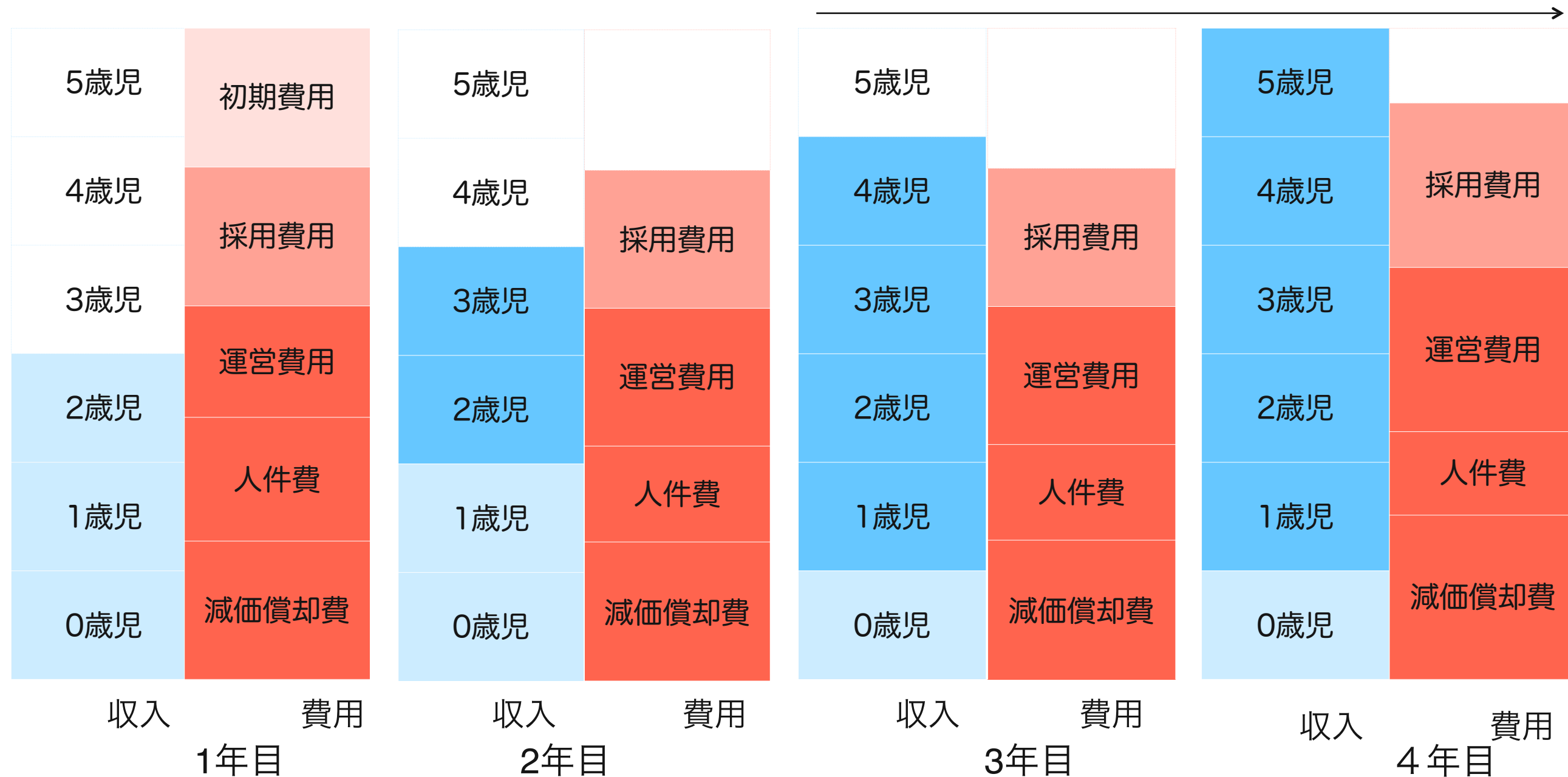
※一部の施設では利用者直接負担が生じます。



認可保育施設の収益化までのイメージ

認可保育園は、開設直後に 3～5 歳児の充足率が低い一方で開設初期費用や採用費用がかかり、赤字傾向となる。他方、開設後3年目以降は順次定員が充足し、初期費用や採用費が抑制されることで黒字に転換。

収益化

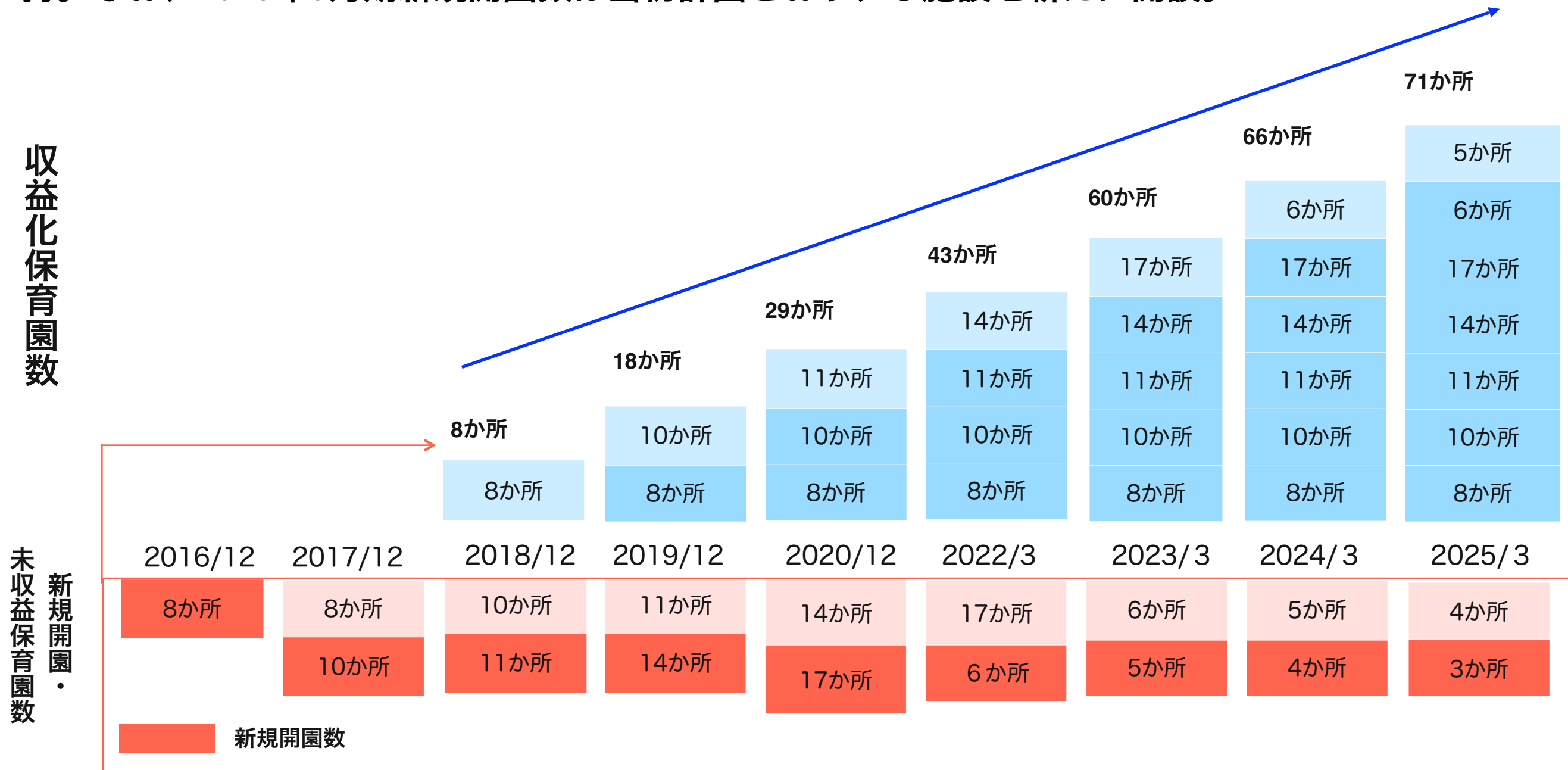


認可保育施設の開設後収益化モデル

AIAI

© AIAI Group Corporation

認可保育所は開設後黒字化までに3年程度を要する一方で、事業成長に向けた積極開設により戦略的に赤字が先行。今後、新規開園ペースは落ち着き、既存施設が収益化し安定的な黒字を維持。なお、2025年3月期新規開園数は当初計画どおり、3施設を新たに開設。

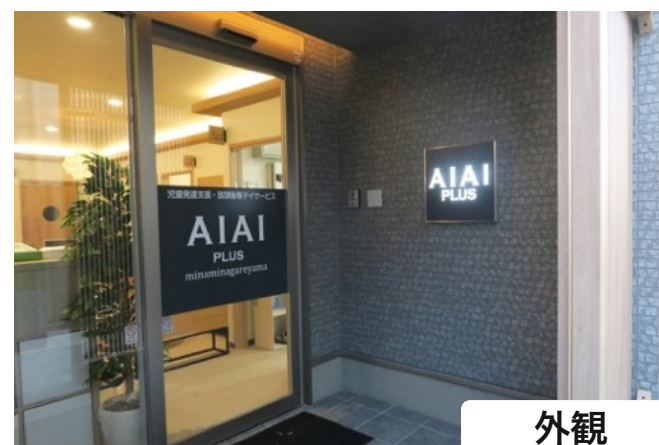
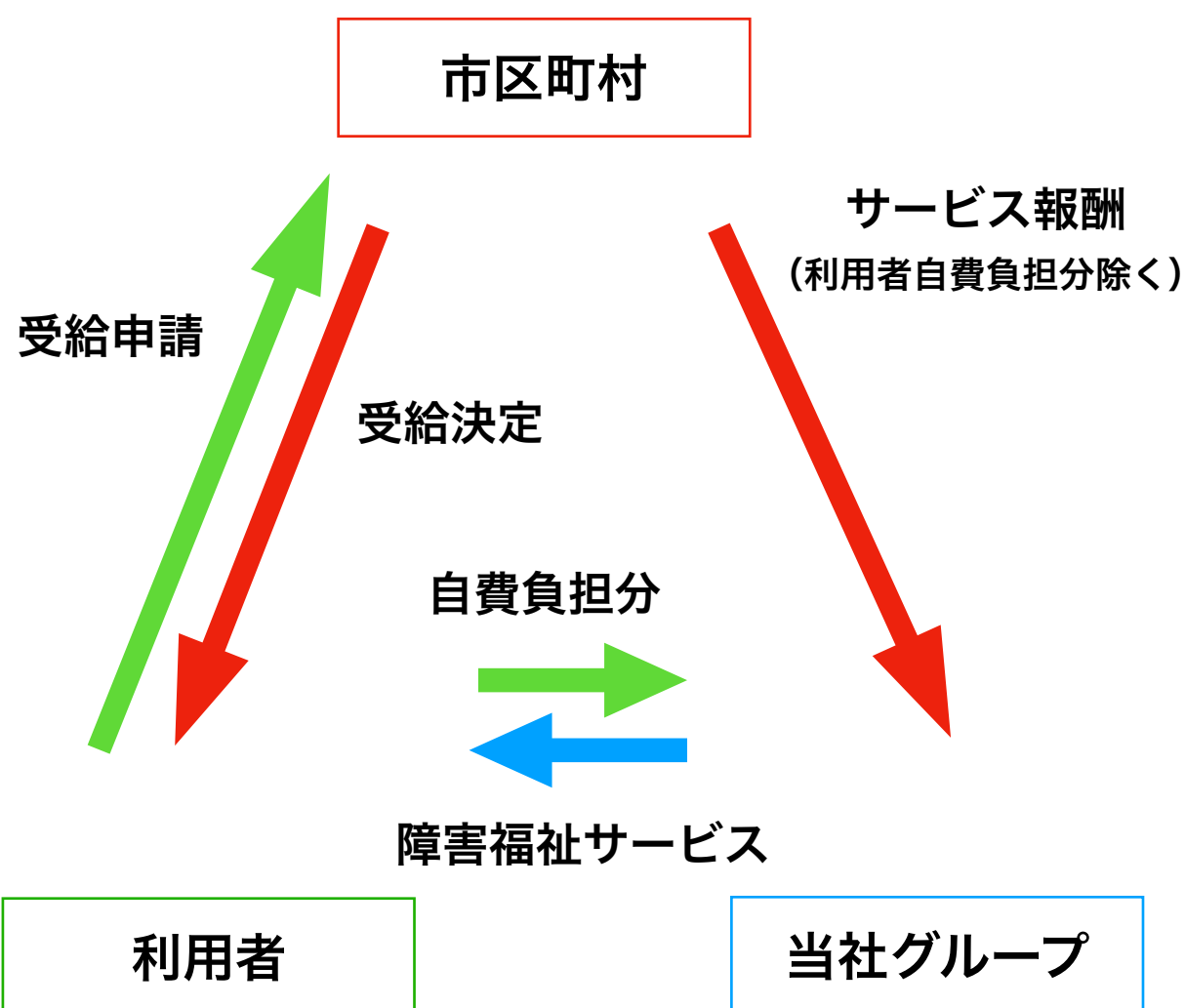


* 当社保育施設のうち小規模保育施設を除く

主なビジネスモデル AIAI PLUSの概要

- ・ AIAI PLUSでは、発達特性により集団生活に馴染みにくい子どもたちにプログラムを提供。
- ・ 1回95分のコースに週2回以上取り組むことで、適切な行動をとるために感覚情報を処理したり組織化したりしていく感覚統合を育成。
- ・ 保育園や幼稚園等への出張プログラム提供（保育所等訪問支援）も実施。

<ビジネスモデル>



外観



相談室



体操室



ホール

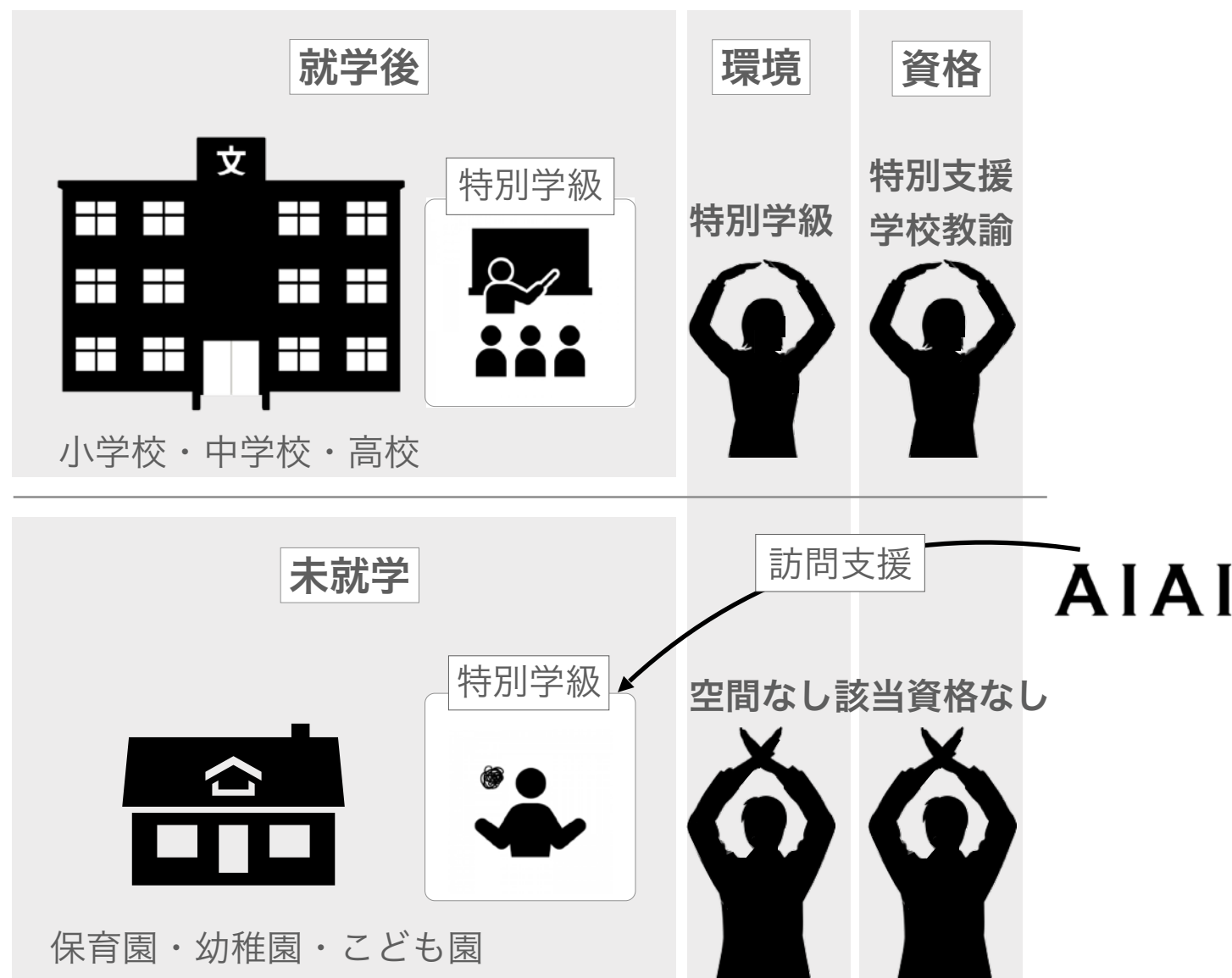
保育所等訪問支援の必要性

- ・ 保育園・幼稚園・認定こども園には特別支援学級がなく、支援員が訪問して療育を提供する必要がある
- ・ 保育所等訪問支援（AIAI VISIT）は、AIAI NURSERY以外の保育園・幼稚園等を広範囲で訪問して療育を提供する

・ ほとんどの園児は乳幼児健康診査を受ける生後18ヶ月未満で入園することが一般的

・ 入園時点において保育者や保護者が園児の発達について把握できない

・ 入園後においても園内には障害児保育の経験者や作業療法士等の専門職が不在



保育所等訪問支援サービスの内容

1 個別支援

支援員と園児が1on1で療育を提供するスタイル
集中的に運動と学習のトレーニングを行うため効果が
表れやすい



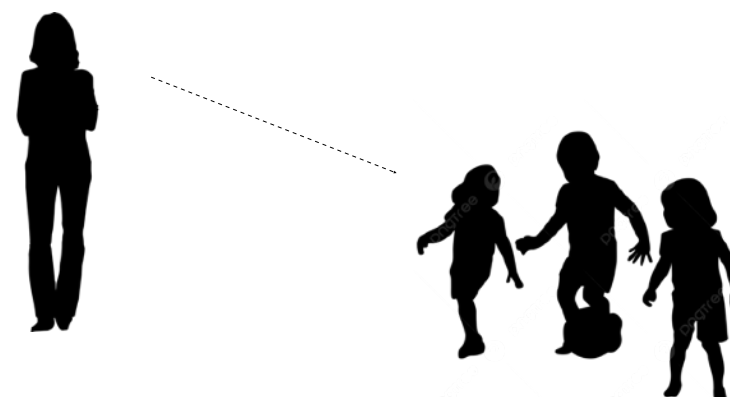
2 集団支援

支援員が集団の中に入って、子どもと一緒に活動する
ルールを守るなど対人スキルを確認して支援する



3 間接支援

担任の保育者や園児に関わる関係者が支援対象
園児の発達的な課題や支援方法について提案・協議を行う



4 フィードバック

契約者である保護者に対して、現時点での園児の発達の課題や
療育の進捗などを共有し、訪問支援の成果を報告する



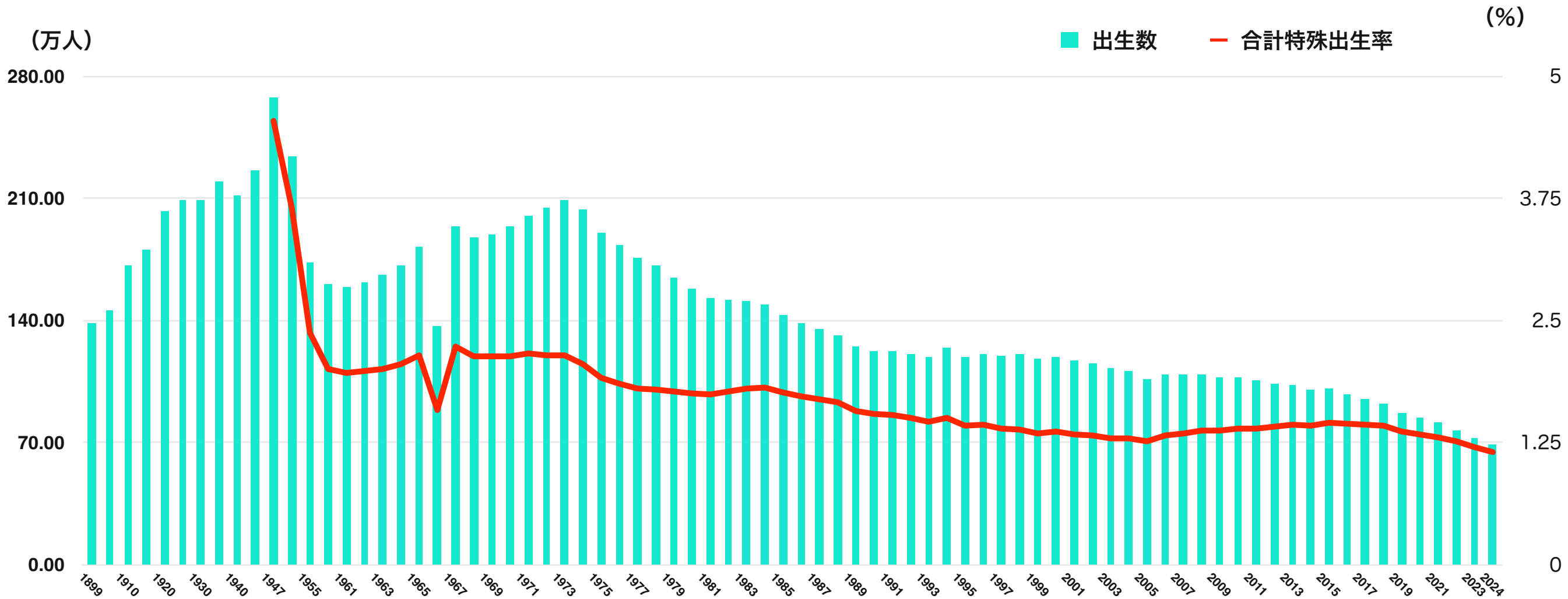
3. 市場環境

AIA

保育園を取り巻く環境（出生数の推移）

2024年の出生数は、初めて70万人を割り込み、68.61万人で過去最少。
出生数の減少傾向は継続。

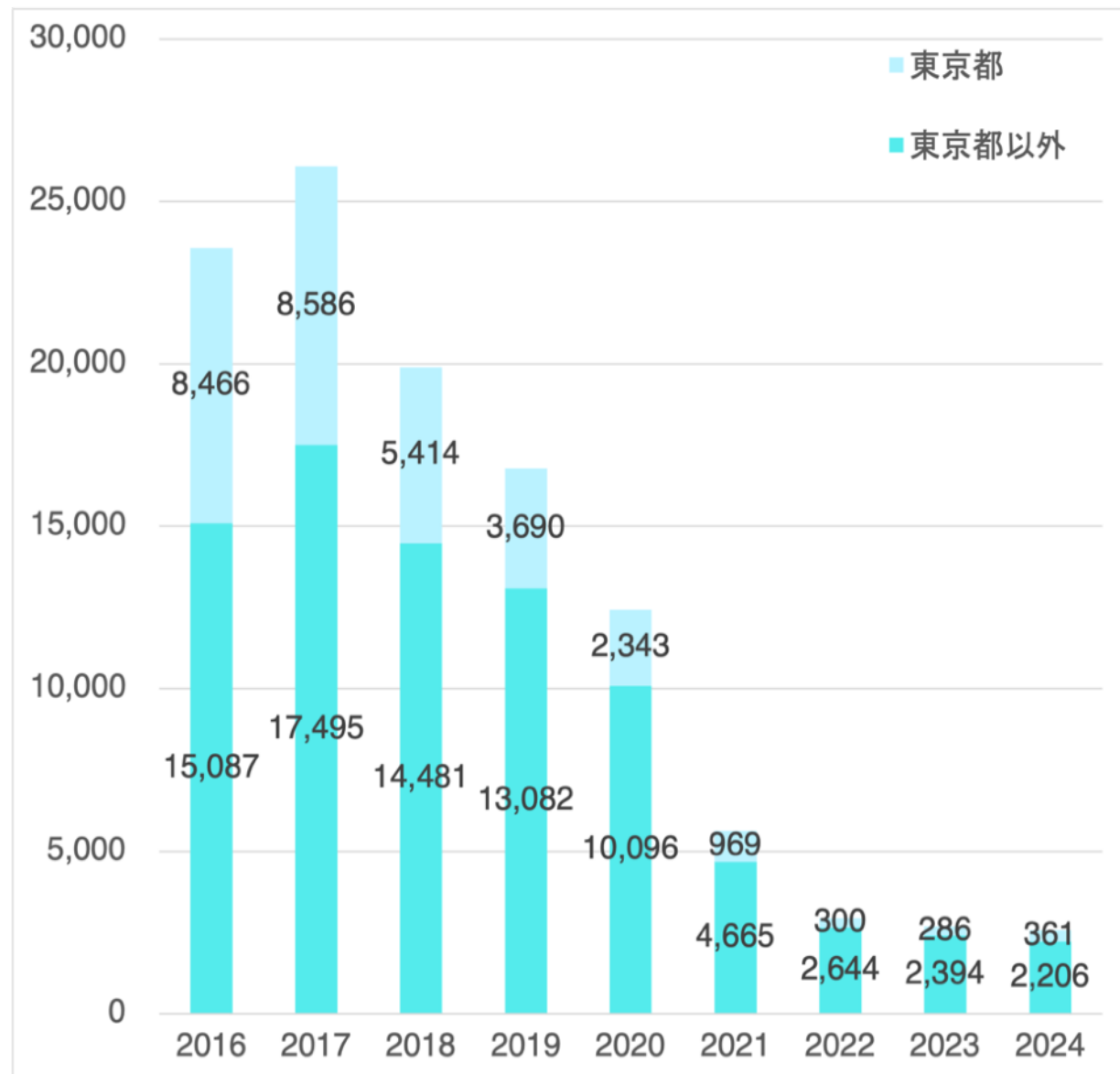
国内の出生数・合計特殊出生率の推移



* 厚生労働省「令和6年人口動態統計（確定数）」を基に作成

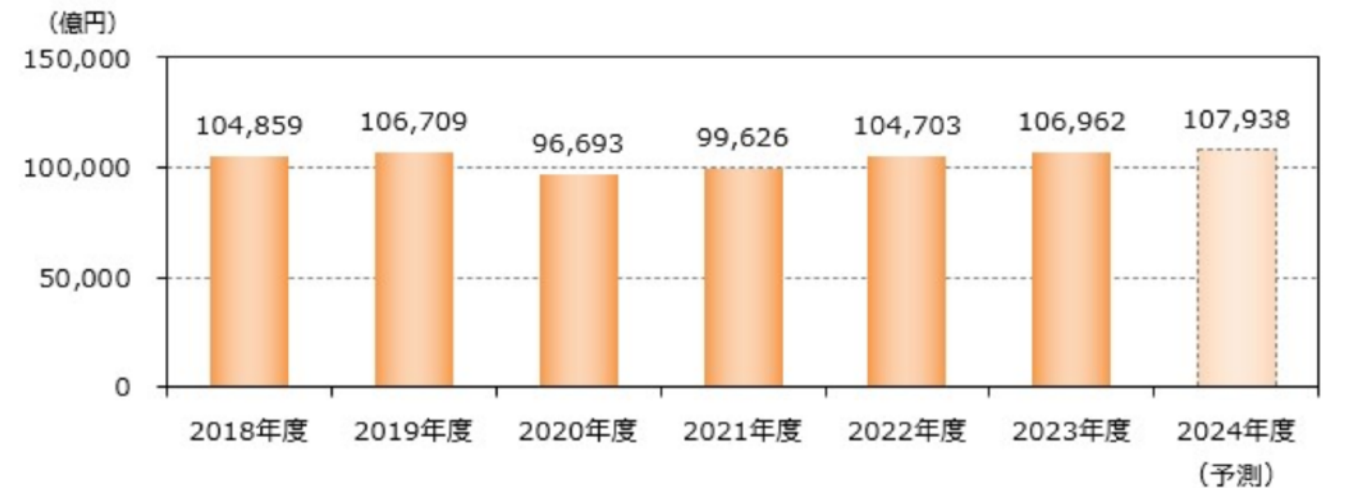
待機児童数の推移

(人)



* こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」（令和6年4月1日）を基に作成

保育園を含むこども関連ビジネス市場規模の推移



矢野経済研究所調べ

注1.事業者売上高ベース（但し、一部は興行収入ベース）

注2.本調査におけるこども関連ビジネス市場とは、

日本国内のこどもに向けた商品・サービスの37分野を対象とする

注3.2024年度は予測値

* 矢野経済研究所 2024年7月30日プレスリリースより引用

https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3588

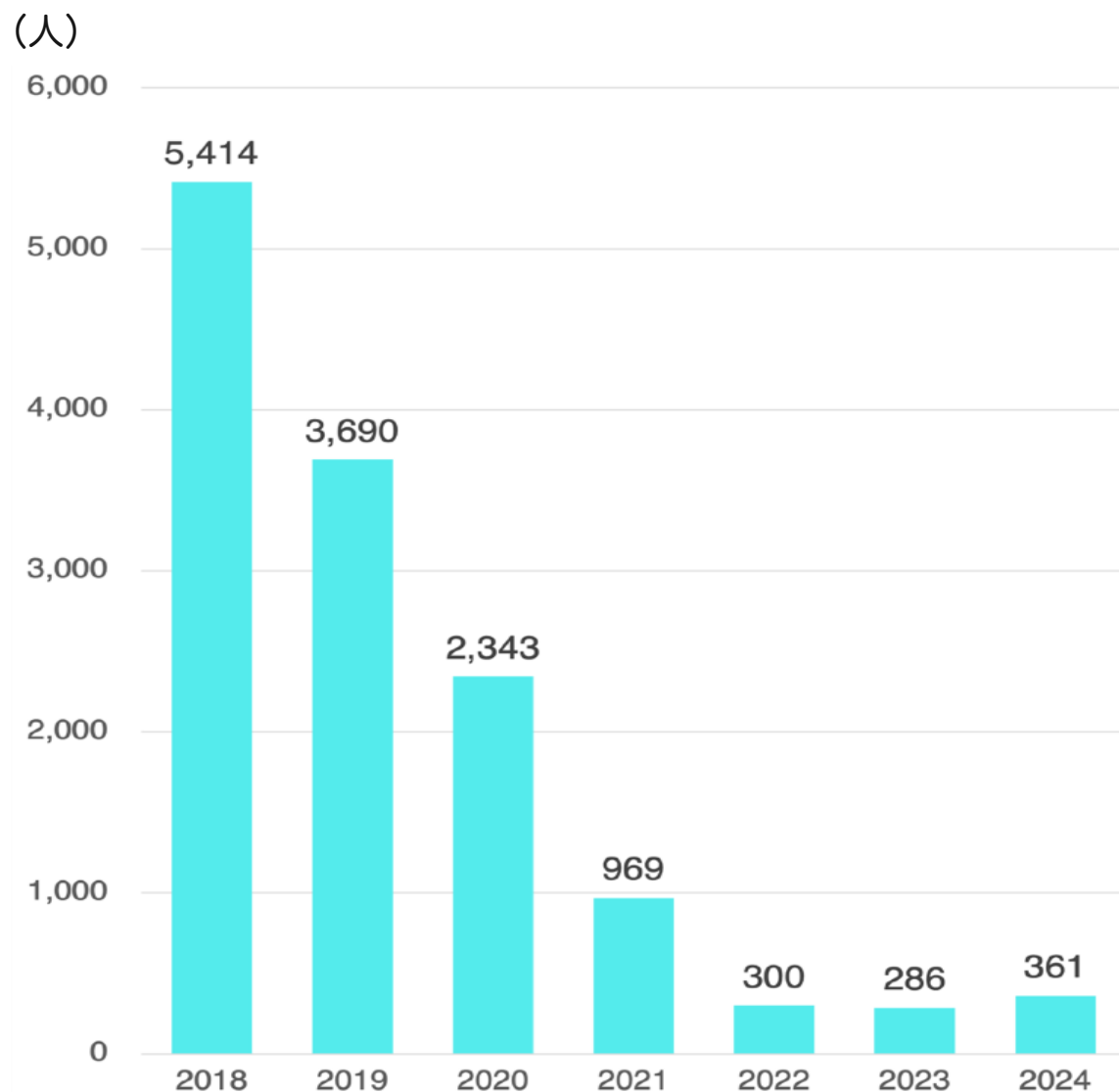
保育園を取り巻く環境

(東京都の待機児童数・新規開設施設数の推移)

全国で最も待機児童が多かった東京都においては、2024年4月には361名まで減少。

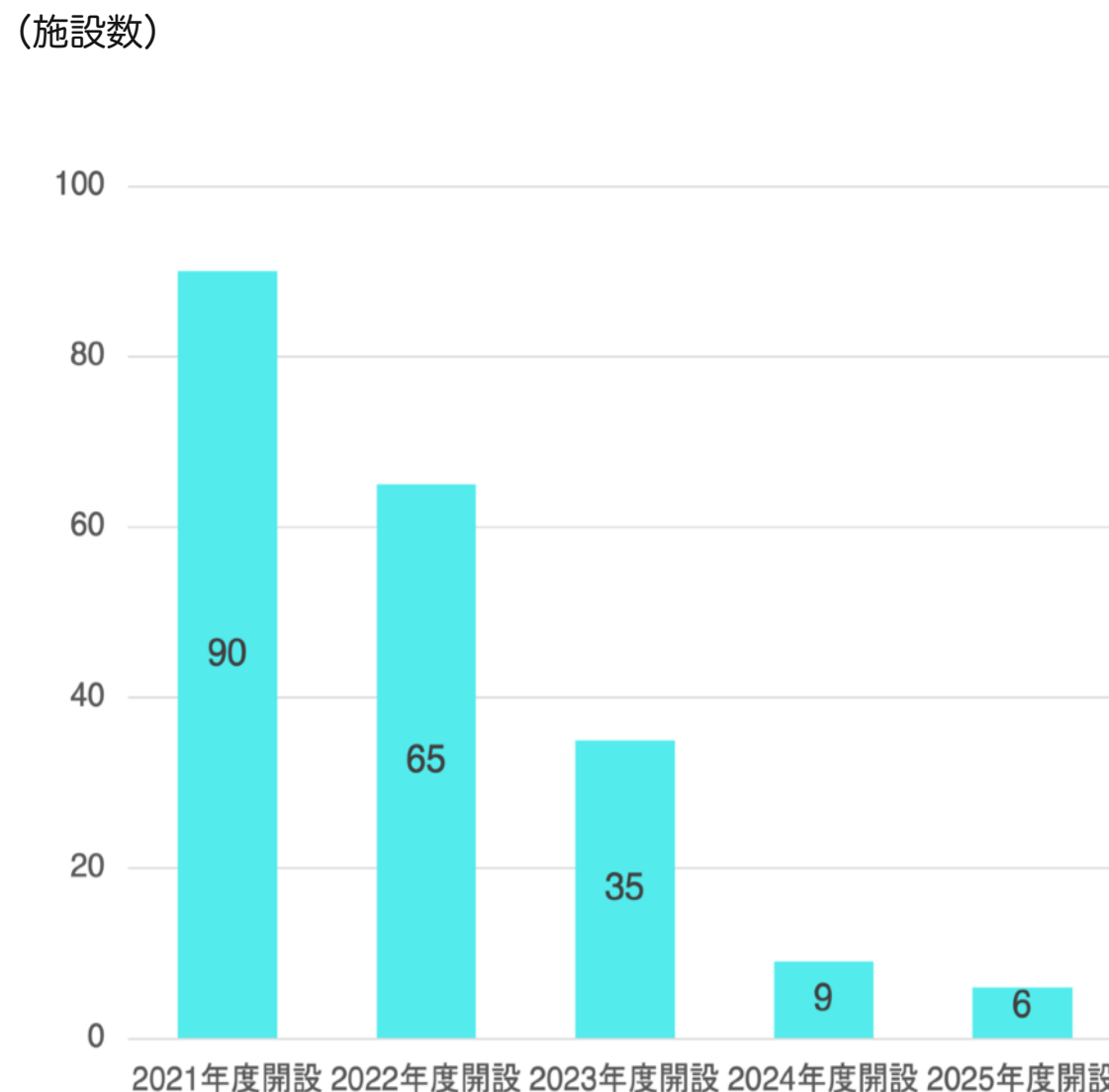
東京23区における新規開設施設数についても2021年度は90施設あったが、2025年4月の開設は6施設となっている。

東京都内の待機児童数の推移



*東京都「都内の保育サービスの状況について」(2024年8月30日)

東京23区の新規開設施設数の推移



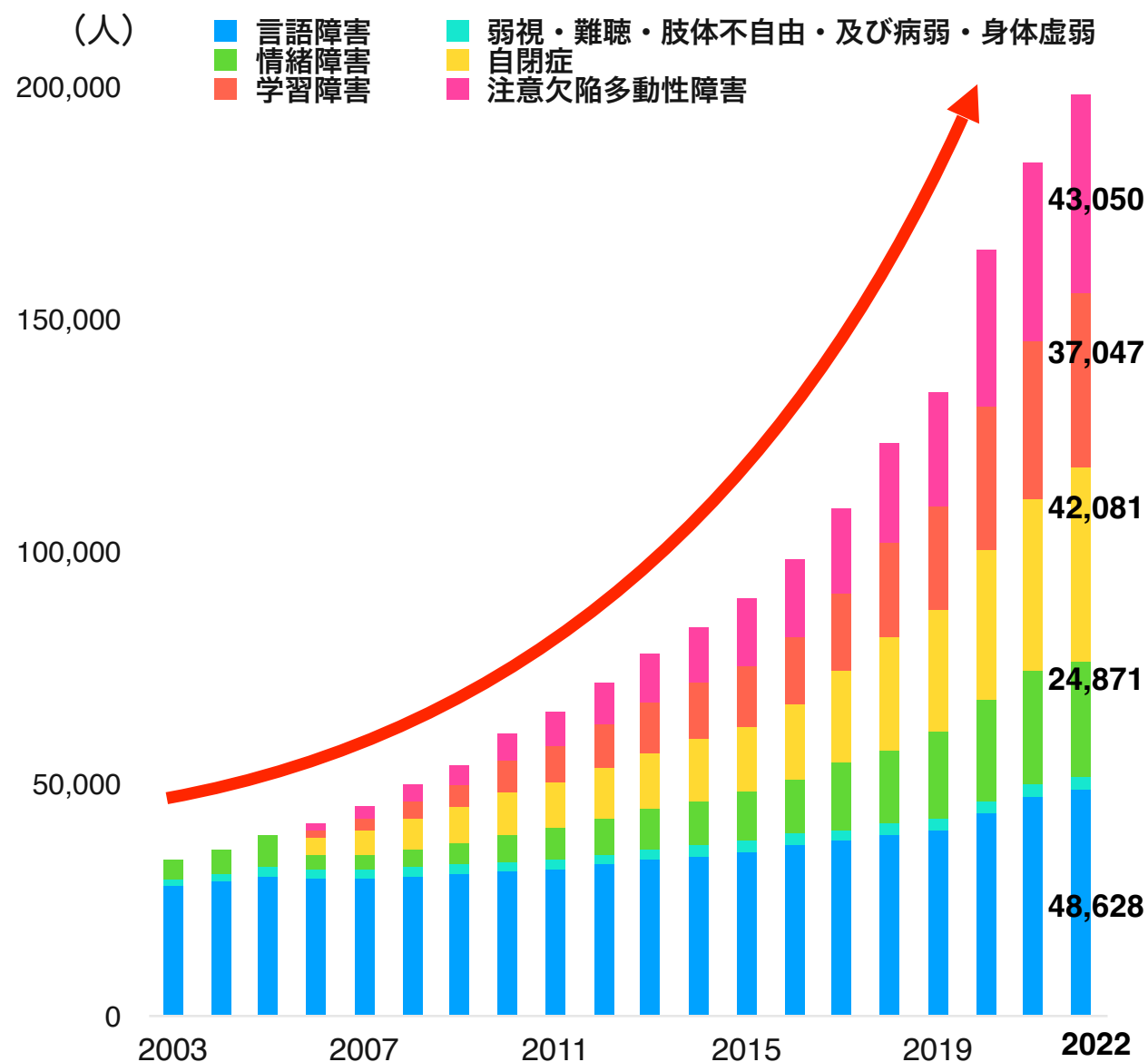
※東京都23区各自治体ホームページにおける公表情報をもとに当社調べ

保育園を取り巻く環境

(障害を抱える子どもの数・障害児施設数の推移)

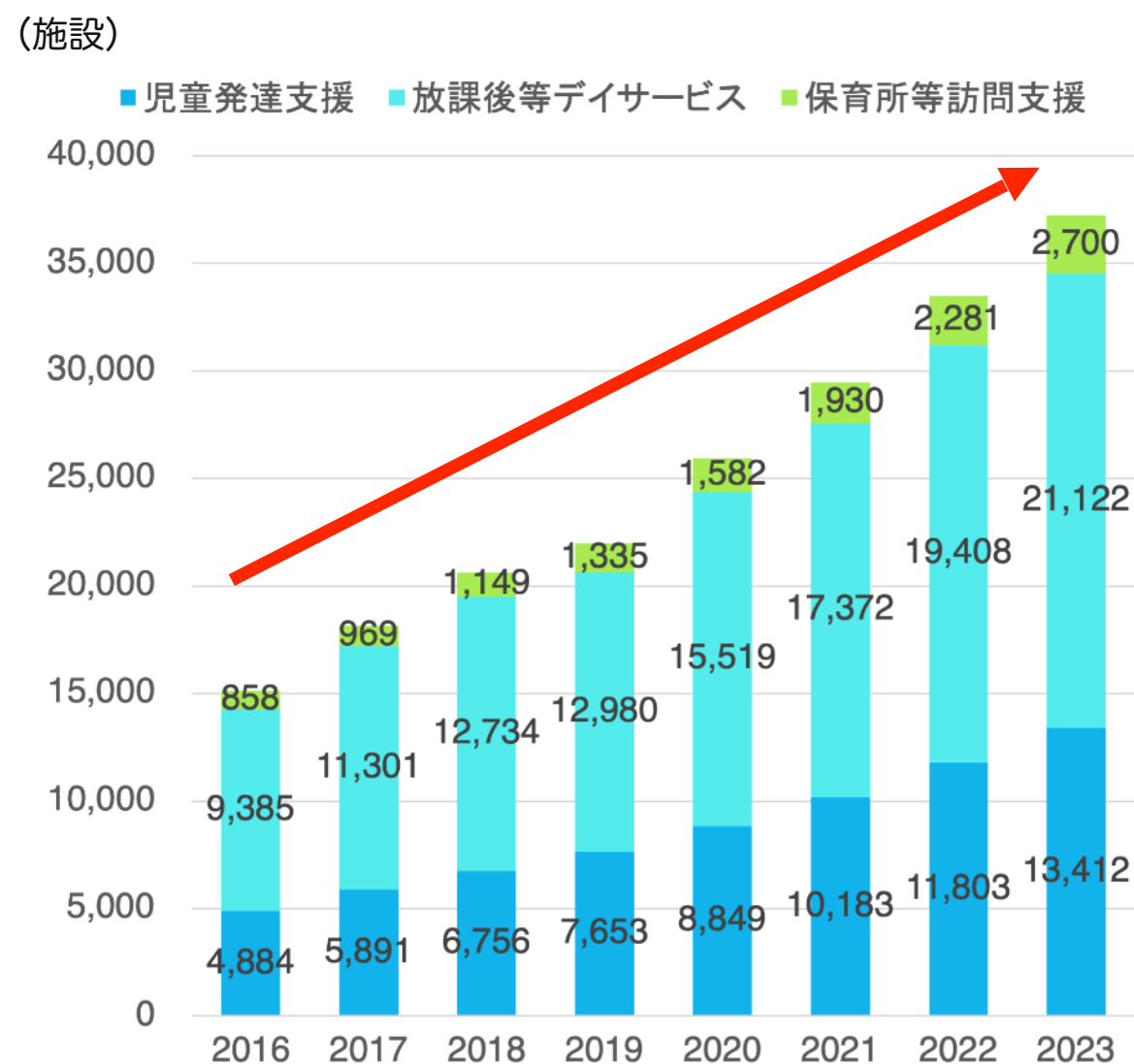
少子化の局面においても障害を抱える子どもの数は増加の一途を辿っており 2003年から2022年の間で5.89倍増加。障害児施設数も障害児数の増加に伴い増加傾向。

障害を抱える子どもの数の推移 (小・中・高校)



*文部科学省「特別教育支援資料（令和5年度）」を基に作成

障害児施設数の推移



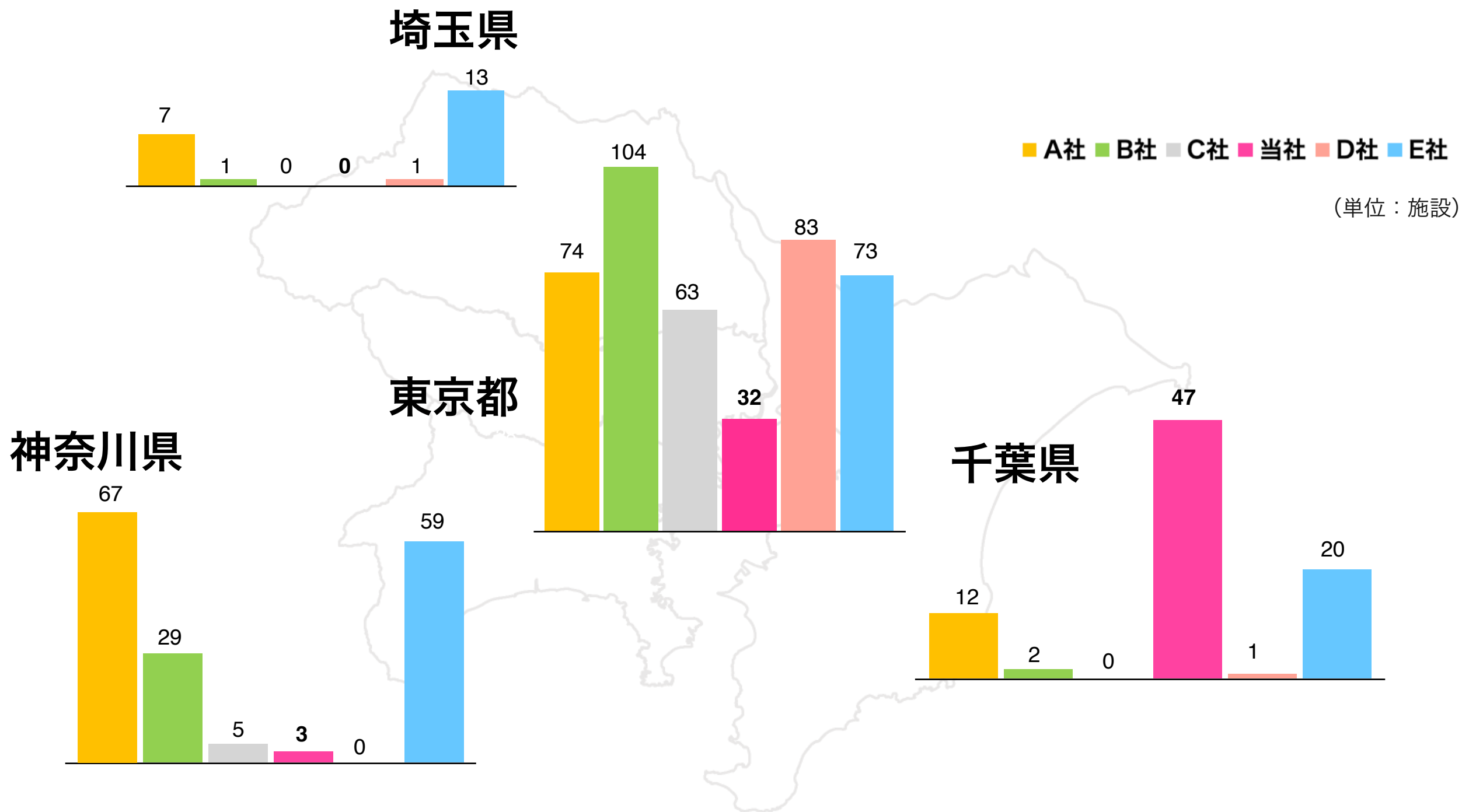
* 厚生労働省「令和5年社会福祉施設等調査」を基に作成

* 複数の事象を行う事業所はそれぞれの事業に計上

首都圏における主な保育事業者の出店状況

AIAI

© AIAI Group Corporation

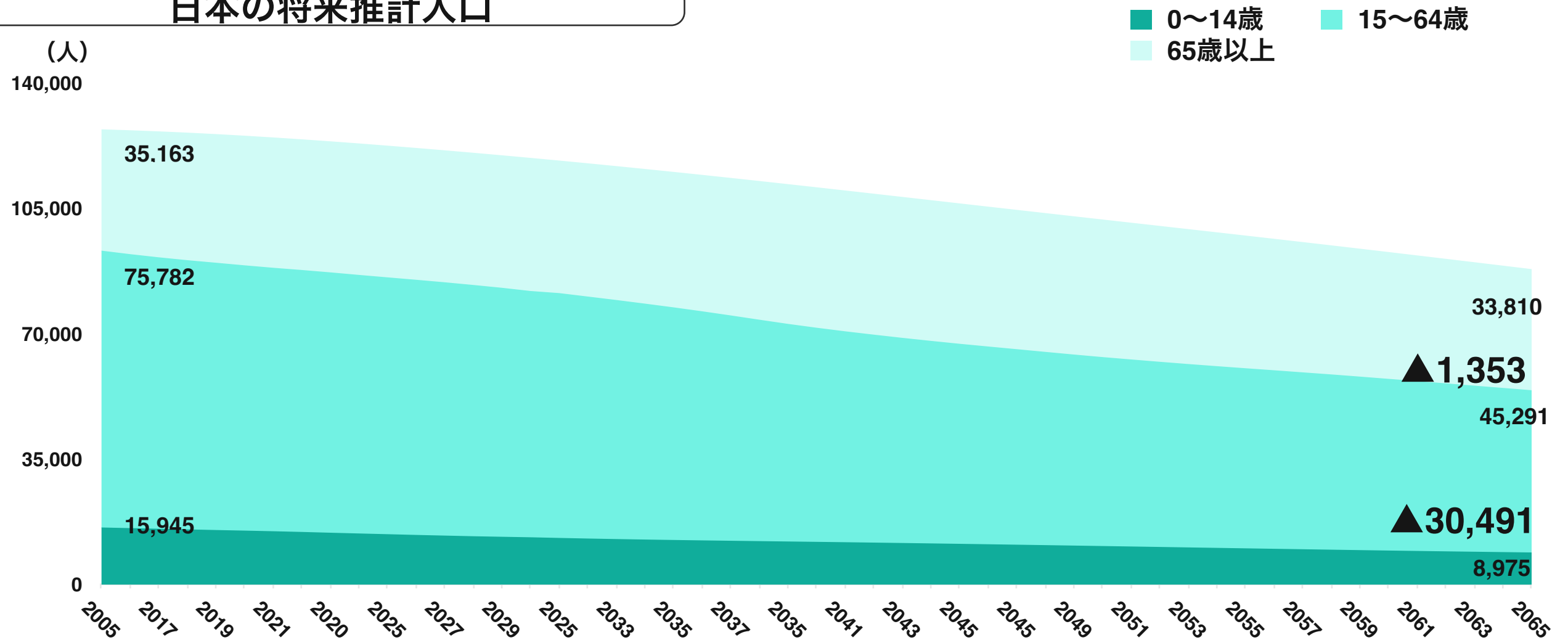


※保育を主たる事業として首都圏に施設を展開する主な株式会社の認可保育施設数及び小規模保育施設数の合計について
2025年5月時点の各社Webサイト公表値をもとに当社作成

日本国内の人口の見通し

日本の高齢者人口は2005年から2065年にかけてほぼ横ばいで推移する一方で 労働年齢人口は約4割減少の見通し。

日本の将来推計人口



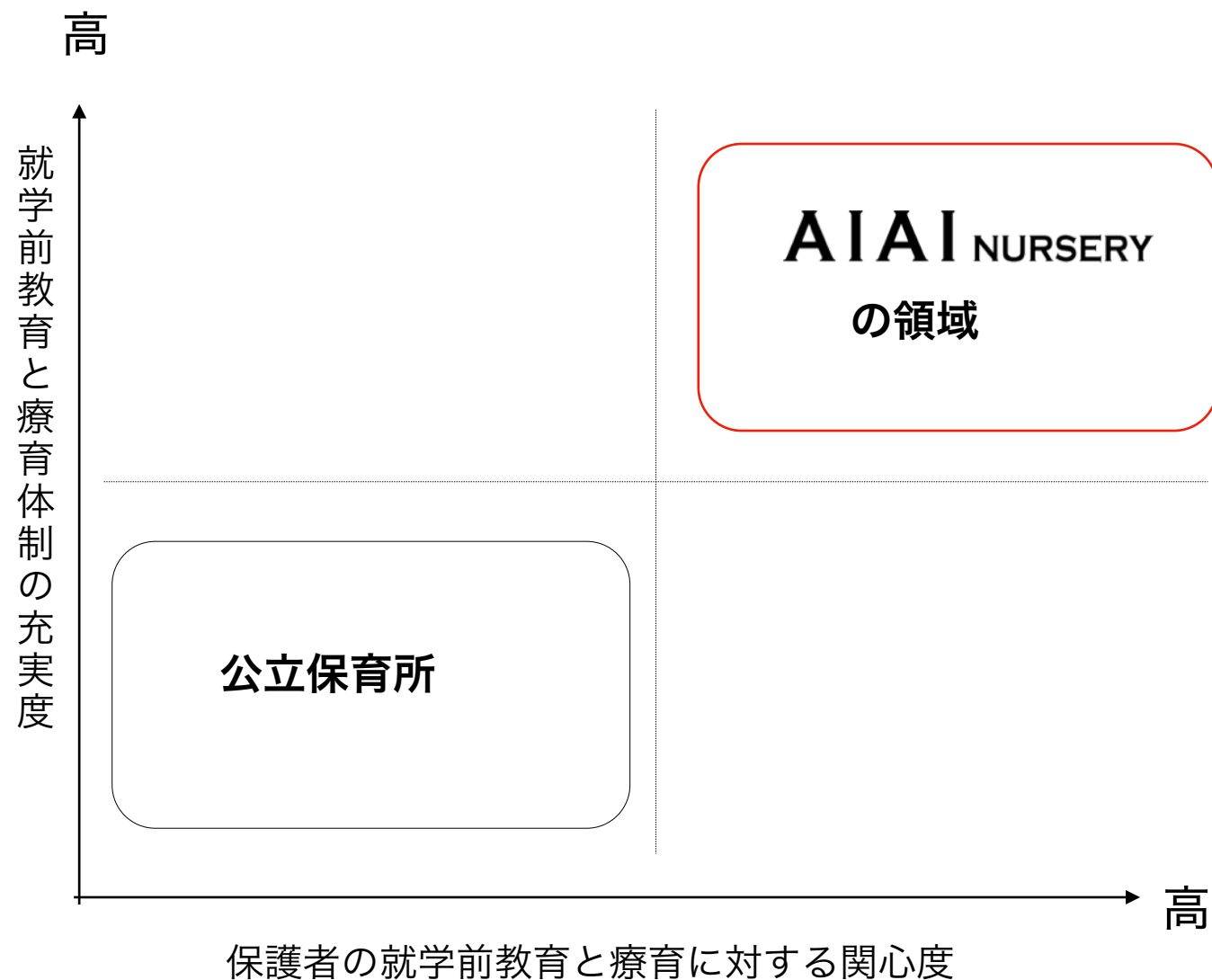
* 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位・死亡中位）より作成

4. 競争力の源泉

AIA

幼児教育プログラムの充実（AIAI NURSERY）

- ・ 今後、就学支援において保育事業者の二極化が進むと考えられる中、AIAIでは就学支援に注力するため、学習室を設置。
- ・ 保護者アンケートに基づき、知識教育、思考教育、運動プログラムを取り入れた幼児教育プログラムで就学支援度を向上。
- ・ 保護者のニーズに応える質の高い保育の提供を通じて、待機児童解消後の選ばれ続ける保育園を目指す。



AIAI の幼児教育

知識教育



思考教育



高い園児数水準（AIAI NURSERY）

AIAI

© AIAI Group Corporation

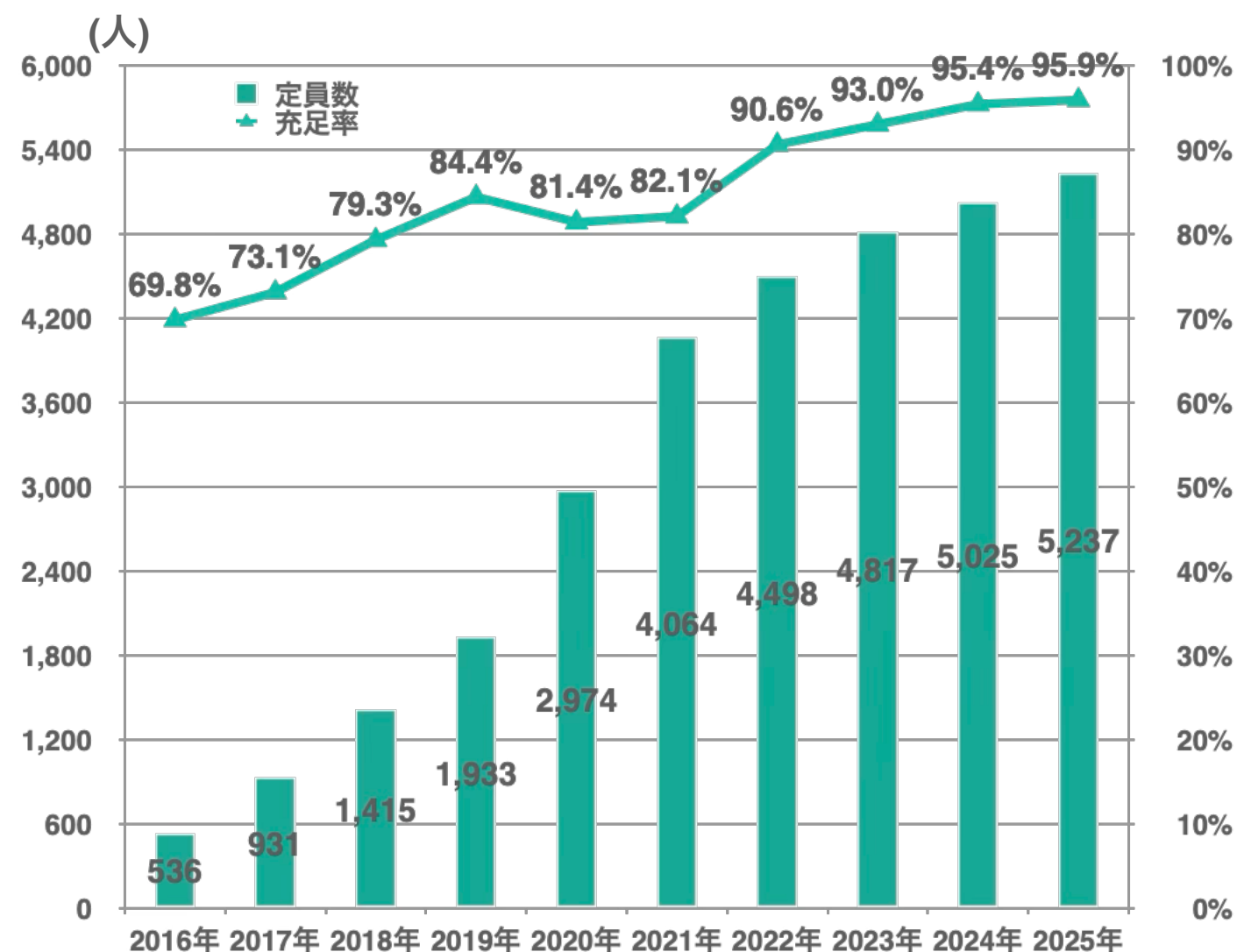
保護者ニーズも踏まえた事業運営により、待機児童がほぼ解消する中でも高い充足率と園児数水準を確保。

1月～3月は転居等の季節性変動要因はあったものの、0歳児を中心に特に公定価格単価が高い低年齢児の 在籍数・充足率は引き続き高水準を維持。

園児数の状況

	在籍数(人) 2025年3月	充足率
0歳児	473	103%
1歳児	907	105%
2歳児	946	100%
3歳児	948	96%
4歳児	893	90%
5歳児	855	86%
合 計	5,022	96%

定員数及び充足率の推移

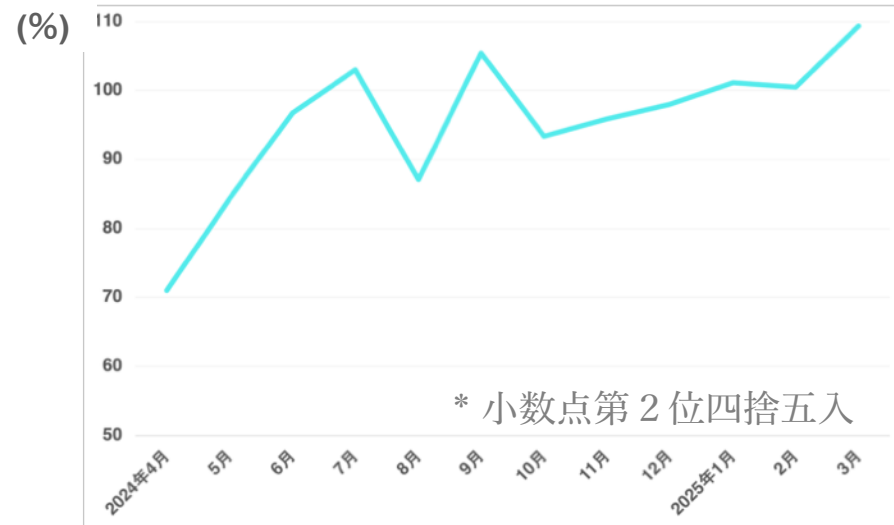


* 小数点以下四捨五入

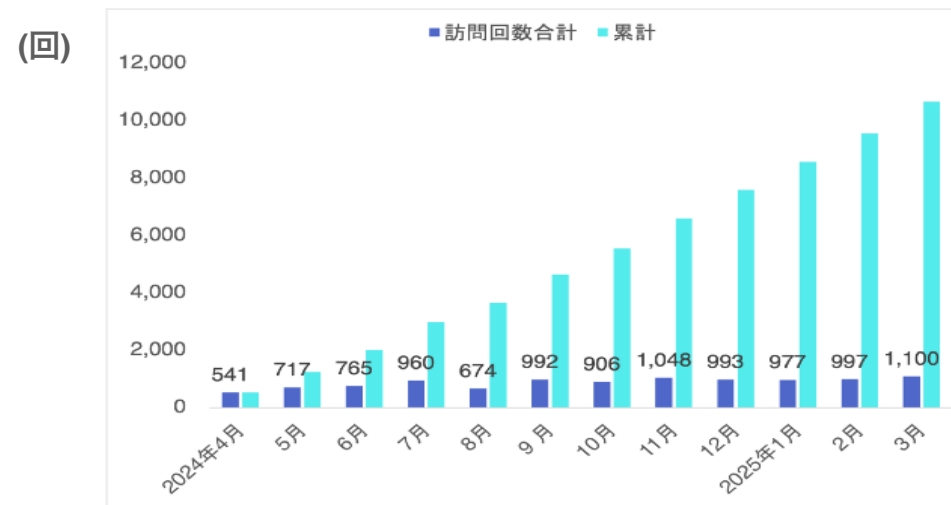
多様な子育てニーズに対応した体制（AIAI PLUS）

保育事業を展開するグループ内で、多様な子育てのニーズにも的確に応えるサービスを提供。
療育プログラムの専門職員による体系的な支援を受けられるAIAI PLUSは、新規開設後順調に稼働率が向上。

平均稼働率の推移（通所支援）



保育所等訪問支援回数の推移（累計）



施設の収支イメージ(併設施設：3年目)

	AIAI NURSERY		AIAI PLUS	
	(百万円)			
売上高	88		44	
費用	75		33	
売上高総利益	13		11	
売上高総利益率	15%		25%	

療育プログラム

ろんり（論理）



IQパズル



微細運動プログラム



Break It Kids



粗大運動プログラム



* 千葉県内の認可保育・多機能型併設施設を想定

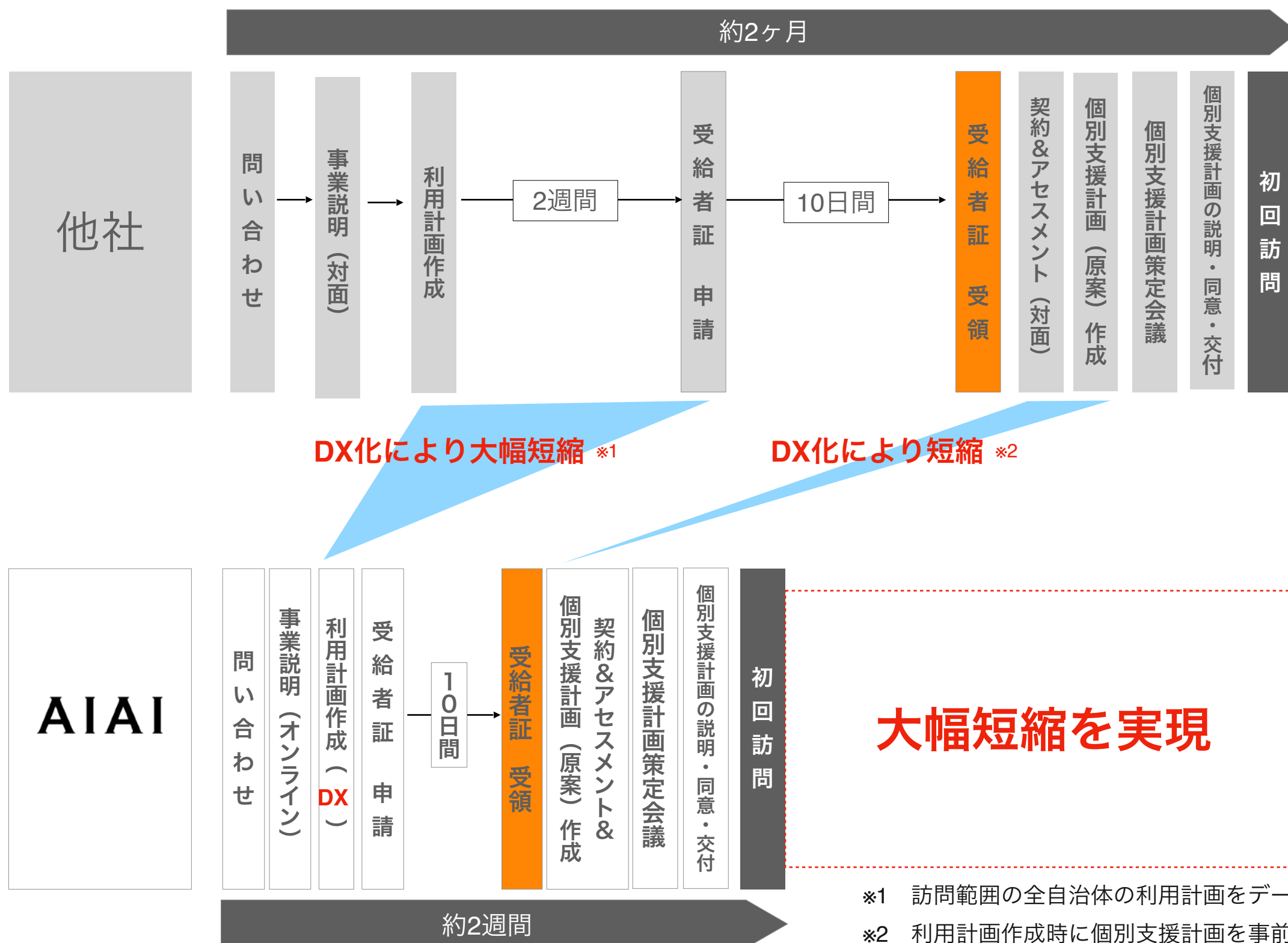
* 3年目に想定の園児数が獲得できた場合の収支モデル

* 単位未満四捨五入

問い合わせから最短2週間後に療育を提供（保育所等訪問支援）

AIAI

© AIAI Group Corporation



グループのシナジーを最大限に発揮した事業展開

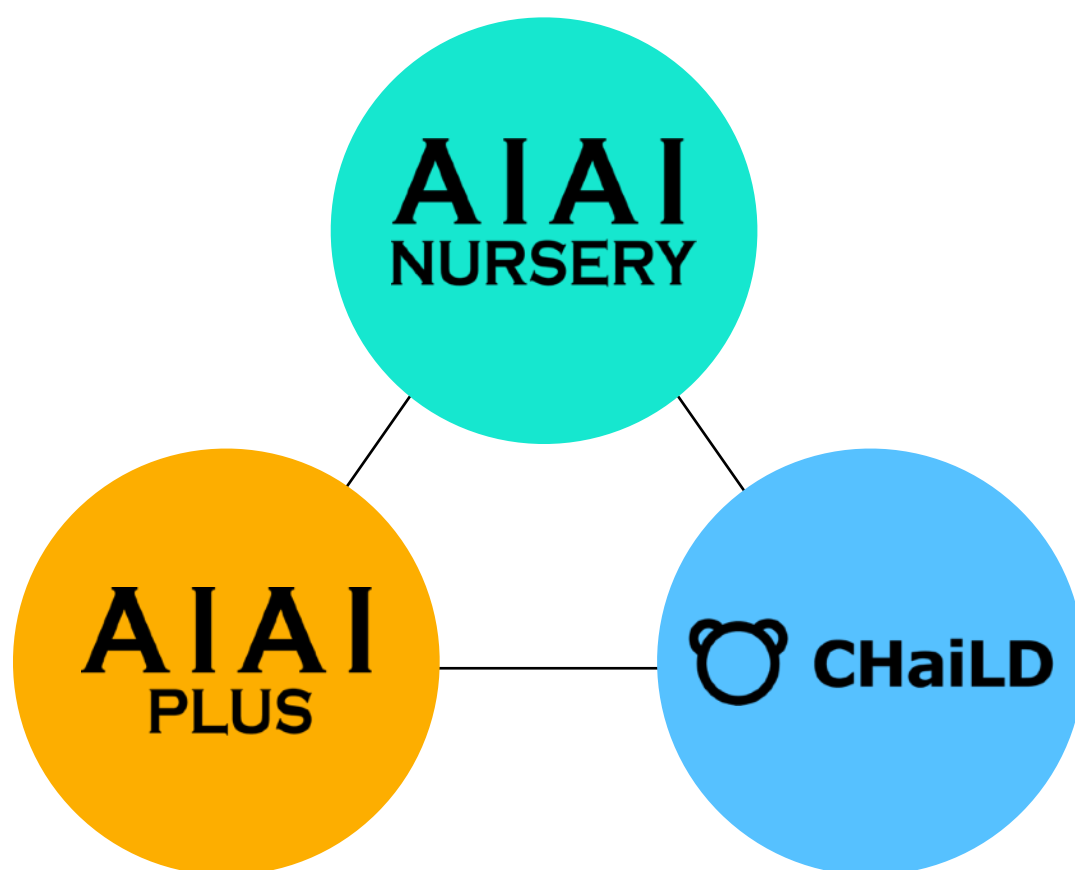
AIAI

© AIAI Group Corporation

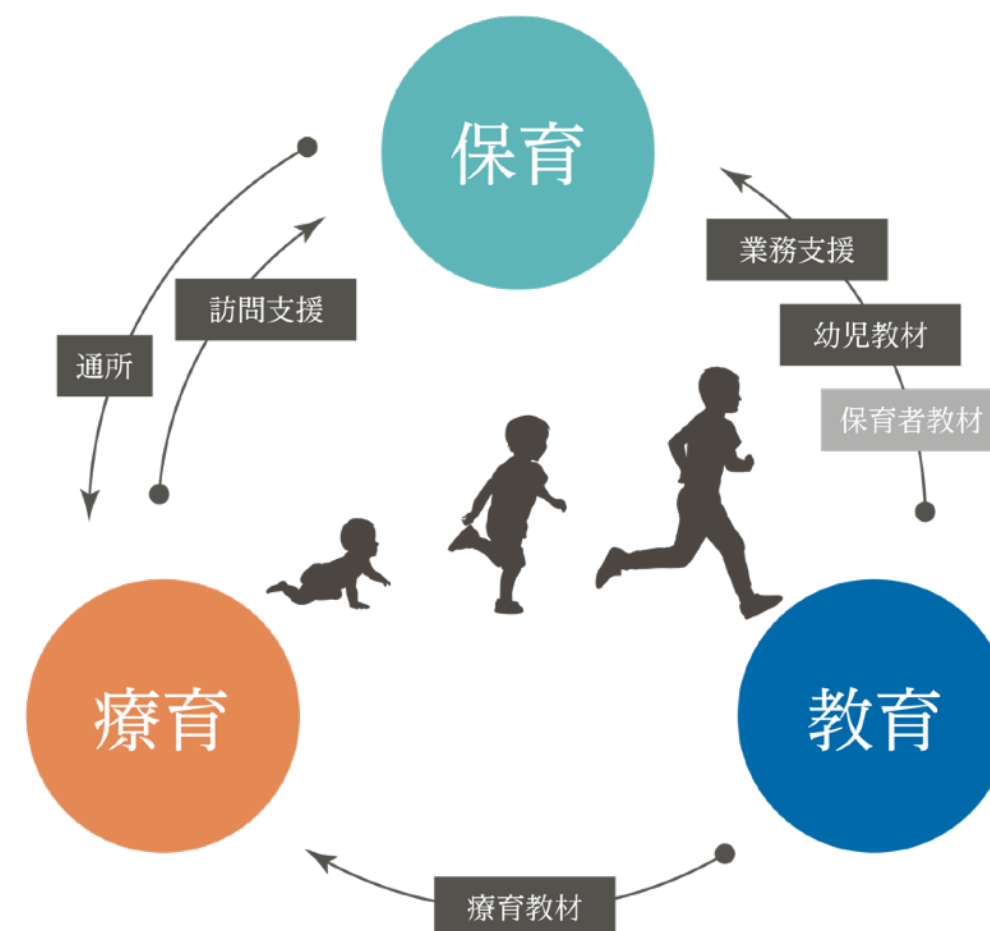
保育・療育・教育をグループとして一体的に提供し、個別最適な保育を実践することで 保護者が安心して利用できる環境を 東京都・千葉県・神奈川県・大阪府で展開。

このエリアを中心に「AIAI三育圏」を掲げ、多様な子どもと保護者のニーズに応えるサービス提供をさらに強化するとともに事業相互間のシナジーを一層強化し、収益力の強化を図る。

AIAIグループの3つの子ども関連事業



AIAI三育圏

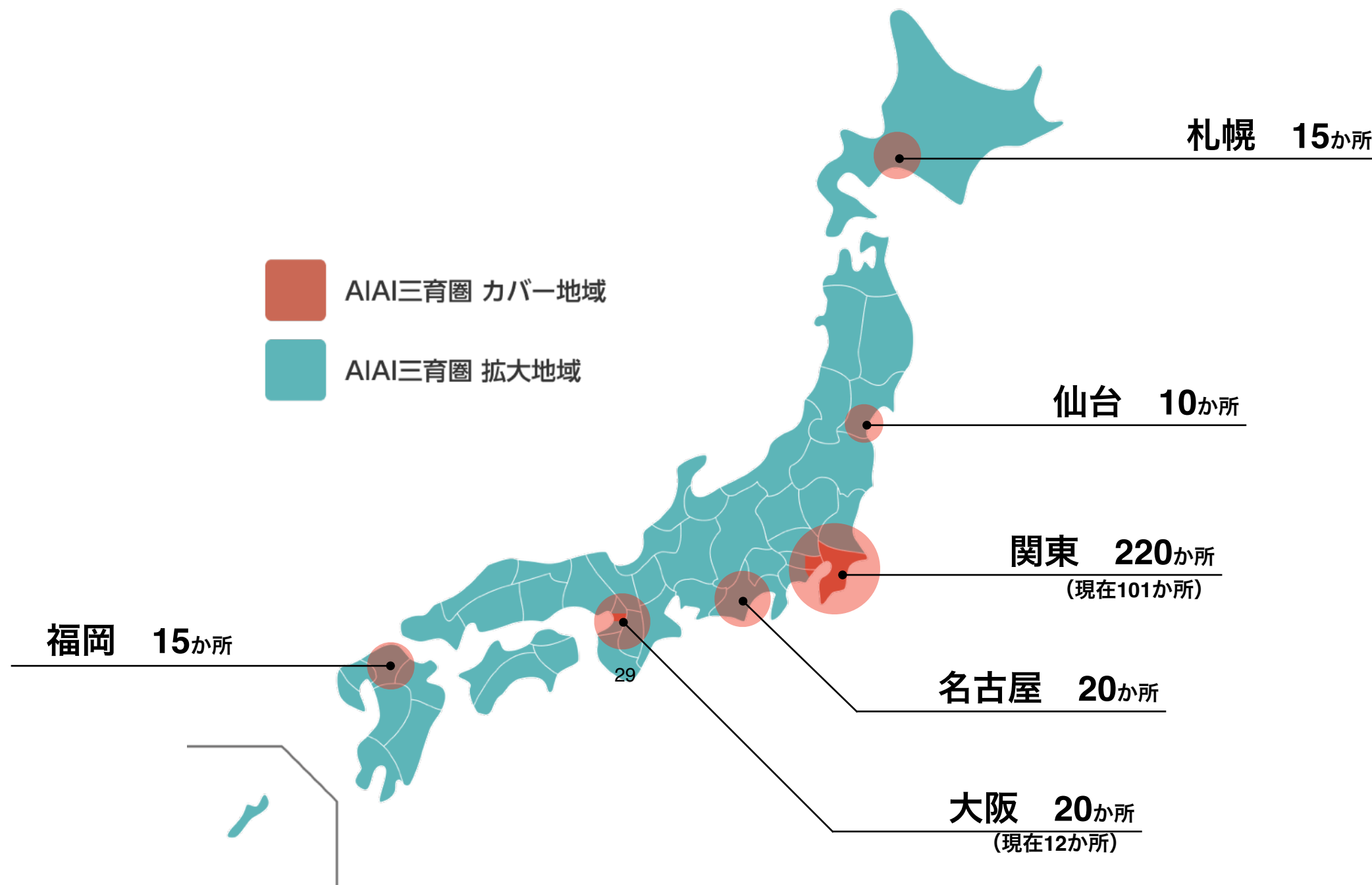


AIAI 三育圏の拡大イメージ

AIAI

© AIAI Group Corporation

保育・教育・療育を一体化させて保育の質を高めるA I A I 三育圏を全国主要都市に広げる
現在の113か所（2025年5月時点）から300か所へ



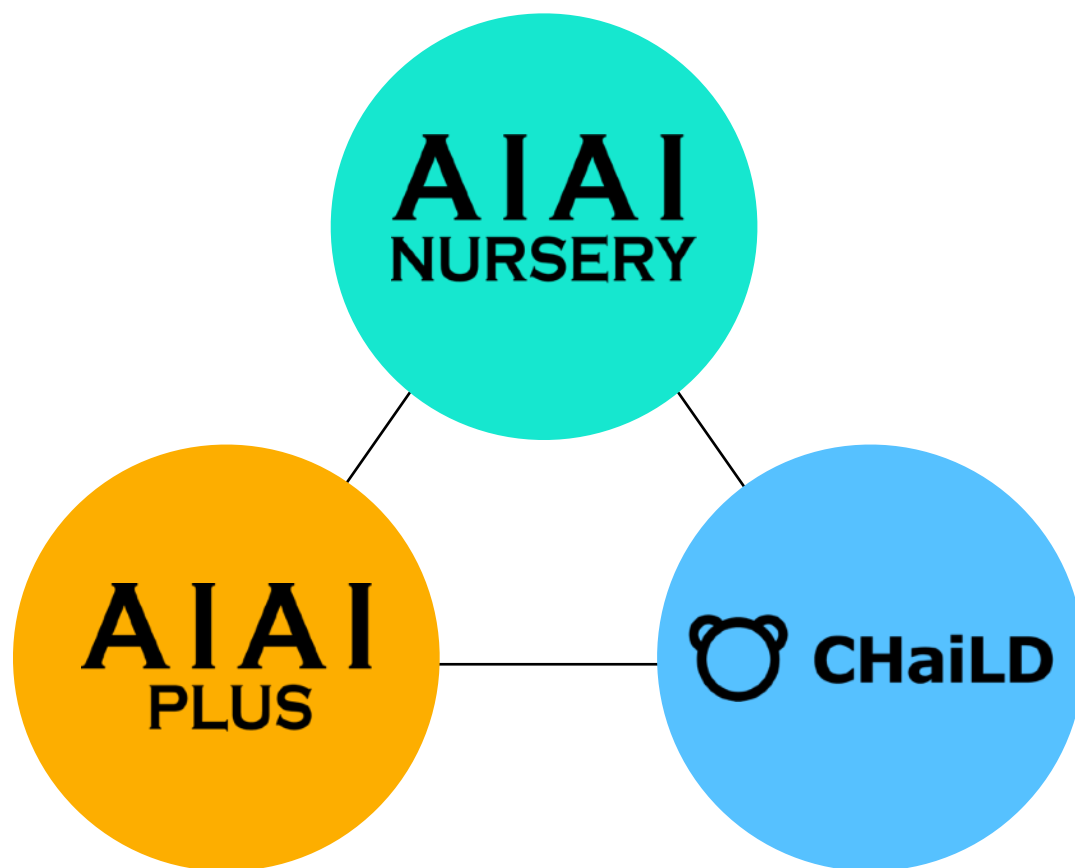
5. 事業計画 (AIAIグループ中期経営計画2023~2025)

AIAI

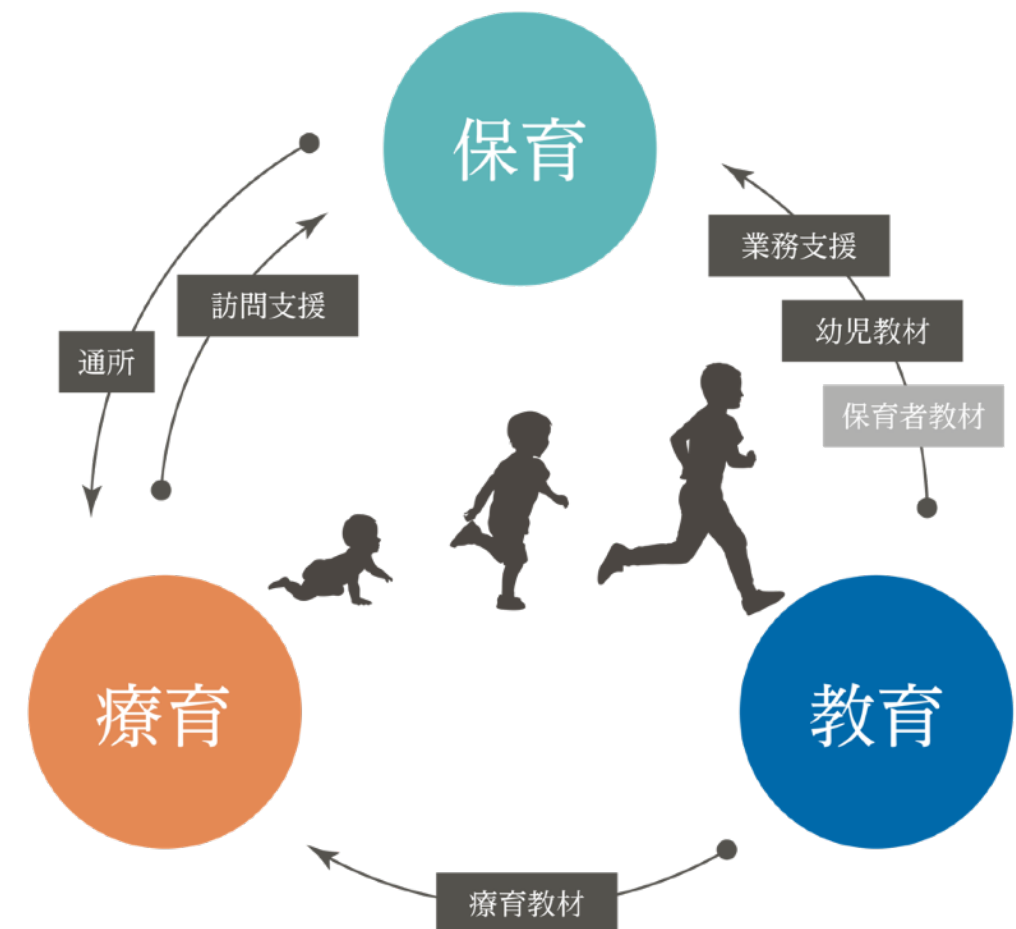
中期的に目指す姿

待機児童が解消に向かう中、近年増加している障害児への適切なケアや小学校へのスムーズな就学のサポートなど保育・療育・教育のそれぞれの事業が互いに補完し合い、より多様な子どもとその保護者へのサポートを実現する。

AIAIグループの3つの子ども関連事業



AIAI三育圏

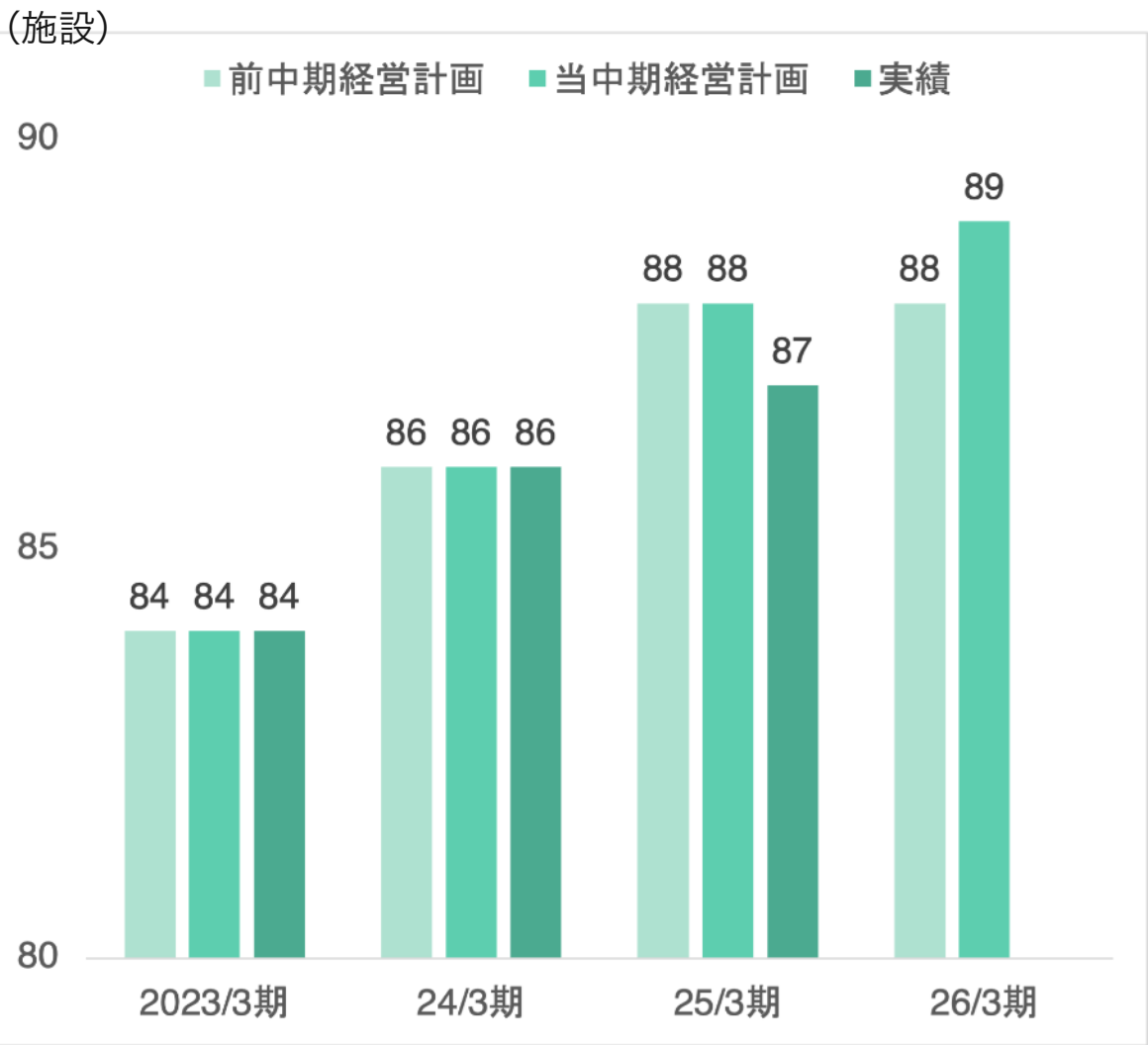


具体的な取り組み① AIAI NURSERYの基盤維持・拡大

豊富なノウハウを有する認可保育分野はグループの売上・利益の基盤であり今後も高いニーズと投資対効果が見込めるエリアに絞って出店を継続。

2025年3月期は新たに3施設を開設するとともに、小規模保育2施設を事業譲渡し、保育施設は合計87施設。

AIAI NURSERY施設数の見通し



基本戦略

① AIAI三育圏によるインクルーシブな保育

保護者アンケートで需要の高い幼児教育プログラムの導入や療育施設AIAI PLUSとの連携により選ばれ続ける保育園として園児数・充足率を確保する。

② 社員満足度向上

大学院との包括連携協定やライセンス制度などにより保育士の専門性を高めるカリキュラムを提供するほか、人的資本経営を重視した取り組みにより社員満足度向上を図る。

M & Aの実績

A I A I 三育圏の拡大に向けて、M & Aを重要施策と位置付け、今後は認可保育所に加えて児童発達のM & Aに注力する。

直近のM & Aでは認可保育所4施設を実施し、定員は189名増加。

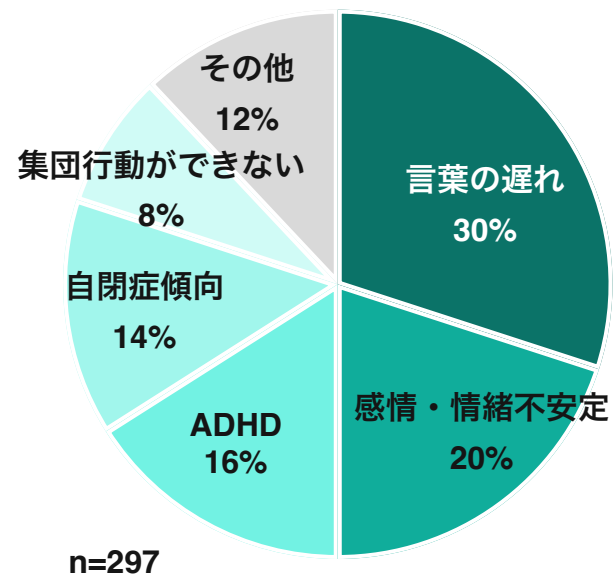
	時期	業態	園名	地域	定員
①	2025年4月	認可保育所	ぽこころ保育園	東京都世田谷区	50
②	2025年5月	認可保育所	ナーサリーホーム稲毛海岸	千葉県千葉市	40
③	2025年5月	認可保育所	ナーサリーホーム小仲台	千葉県千葉市	59
④	2025年5月	認可保育所	ナーサリーホーム園生	千葉県千葉市	40

具体的な取り組み② AIAI三育圏「保育 × 療育」分野

AIAI PLUSとの連携を強化し、発達に特性のある子どもに対して効果的なサポートを提供。
2025年3月期は、保育所等訪問支援に特化したAIAI VISIT東京を開設。

AIAI PLUSのプログラム設計と期待効果

言葉の遅れ、感情・情緒不安定、発達障害傾向が全体の80%を占める



* 国立リハビリテーションセンターが掲げる「気になる行動と気づきのポイント」も踏まえたプログラム設計



ろんり



IQパズル



微細運動



Break It Kids



粗大運動

基本戦略

1. 発達分析等を活用したAIAI NURSERYとの連携

株式会社CHaiLDが開発した発達分析機能を活用し、AIAI NURSERYの園児のなかで発達に特性がある子を可視化。AIAI PLUSの専門職員による効果的なアセスメントに繋げる連携態勢を構築する。

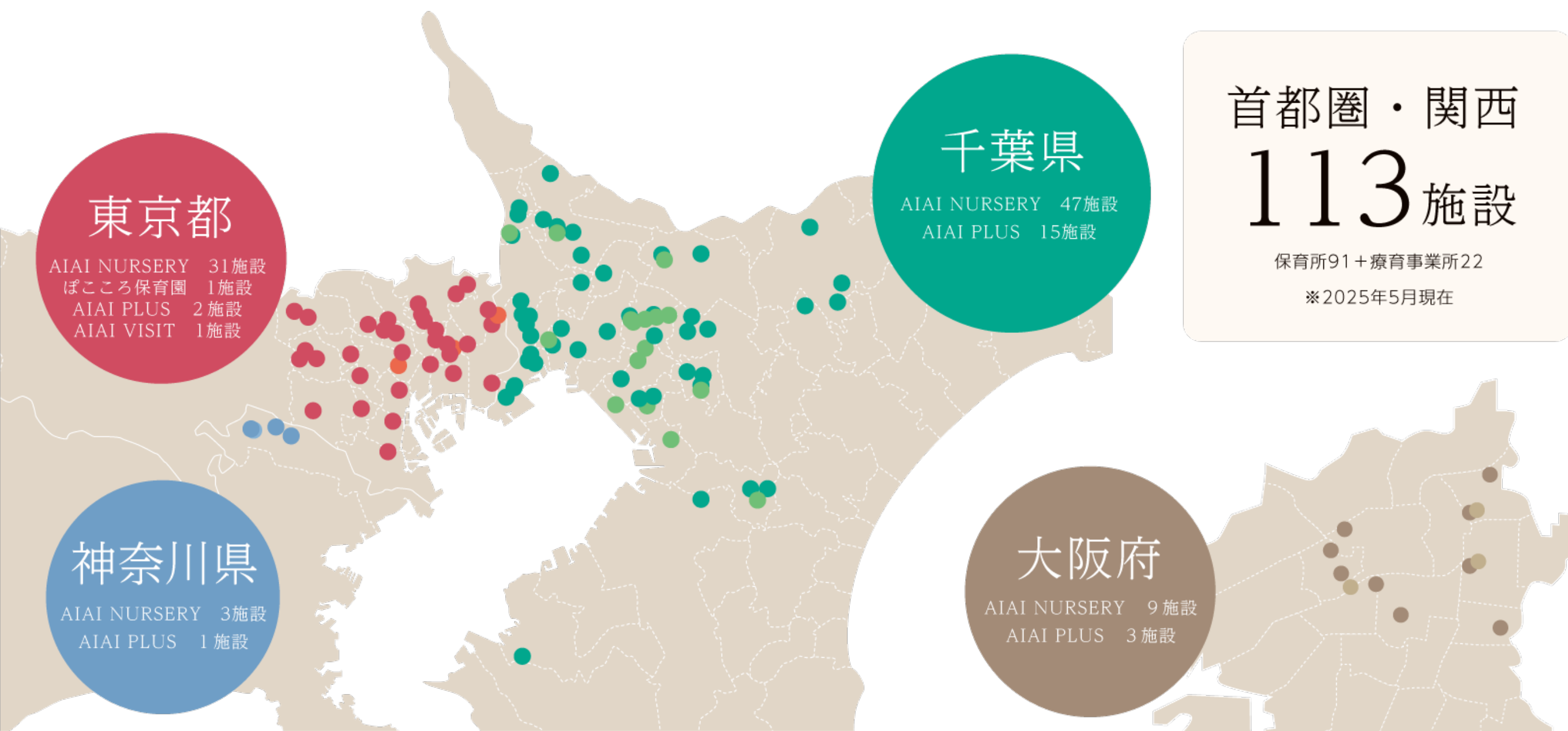
2. 質の高いサービスと高い利益率を目指した出店数見直し

質の高いサービスを提供しつつ、AIAI PLUSの売上高及び利益率に大きな影響を及ぼす専門的支援加算の獲得による収益の最大化を図るため、作業療法士等の有資格者の獲得及び職員の人材育成のペースとも合わせた出店数に見直し。

(参考) 当グループの出店エリア (2025年5月時点)

AIAI

© AIAI Group Corporation



具体的な取り組み③ AIAI三育圏「保育×教育」分野

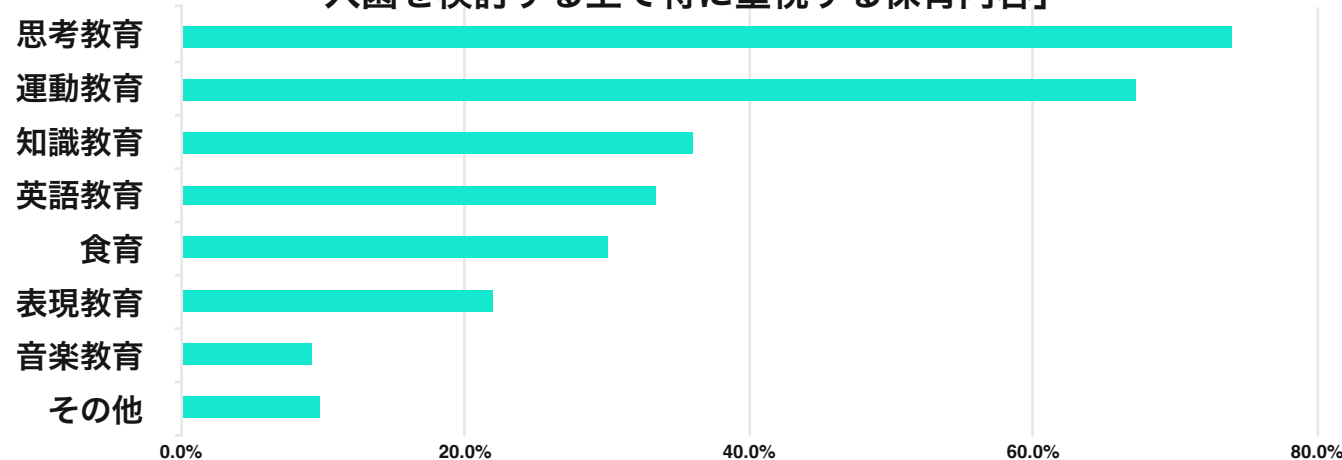
AIAI

© AIAI Group Corporation

小学校へのスムーズな就学をサポートするためCHaiLDにおいて効果的な幼児教育プログラムを展開。幼児教育プログラムは、毎年実施している保護者アンケート結果をもとに、思考教育、知識教育、運動教育を保育カリキュラムに取り入れ、差別化を推進。

幼児教育プログラムの充実

グループ直営保育施設説明会参加保護者アンケート
「入園を検討する上で特に重視する保育内容」



基本戦略

kokoro
lingua

モンテッソーリ教育に基づく「英語プログラム」



幼児教育施設 いまの保育
IQバズル 脳 思考力

特化型「学習プログラム」



R
ちんり

筋道を立てて考える「論理力」を養うプログラム



Breath
Kids

作業療法士が考案した運動プログラム



① 魅力的な幼児教育プログラムの導入

小学校入学までに必要となる知識教育（読み書き）や英語のほか、思考教育（数・量を考える力）といった発展的なプログラムも充実させ、小学校への就学サポートを強化する。

② ビジネスモデルの構築

AIAI三育圏の輪を拡大させていくため、幼児教育プログラムはグループ直営認可保育施設での導入とともに、今後の外部施設への導入も見据えたビジネスモデルの構築に取り組む。

具体的な取り組み④ コーポレート関連

財務体質の強化に向けて引き続き利益の積み増し等を進めているほか、
人的資本面においては、健康経営優良法人2025の認定を受けるとともに、キャリアアップの支援を継続的に実施。

財務・資本

自己資本の充実

1. 資産の流動化
流動化可能な固定資産や有価証券の保有の見直し
2. 多様な資本調達の検討
金融機関からの借入のみならず、株式市場からの調達も含めた多様な資本調達手段を検討

株主還元の方

1. 当面は事業を成長させることが株主への最大の還元との考えのもと無配当を維持
2. 長期的には安定的な利益を創出し配当の実施も検討
3. 2024年10月より成長投資を確保した上で、余剰資金の範囲内で株主還元策を開始
毎年9月30日、3月31日時点の株主名簿に記載された300株（3单元）以上の株主様1名に対して1回15,000円分のデジタルギフトを贈呈

人的資本

働きやすい環境整備の促進

1. 健康経営の推進
健康経営優良法人のスコア向上を指標として従業員の健康増進をサポート
2. 多様な働き方の実現
3. 施設職員のライフステージにあったキャリアパスの選択、オフィスワークスタイルの見直し



人材育成

1. キャリアアップ支援
 - ・自社ライセンス制度や教育修士制度
 - ・母店制度を活用し母店施設長から一般施設長等へのマネジメントを支援
2. 個別サポートの充実
管理者と社員との定期的な1on1ミーティングを通じて社員の抱える課題の解決や成長をサポート

人材育成のキャリアモデル

AIAI

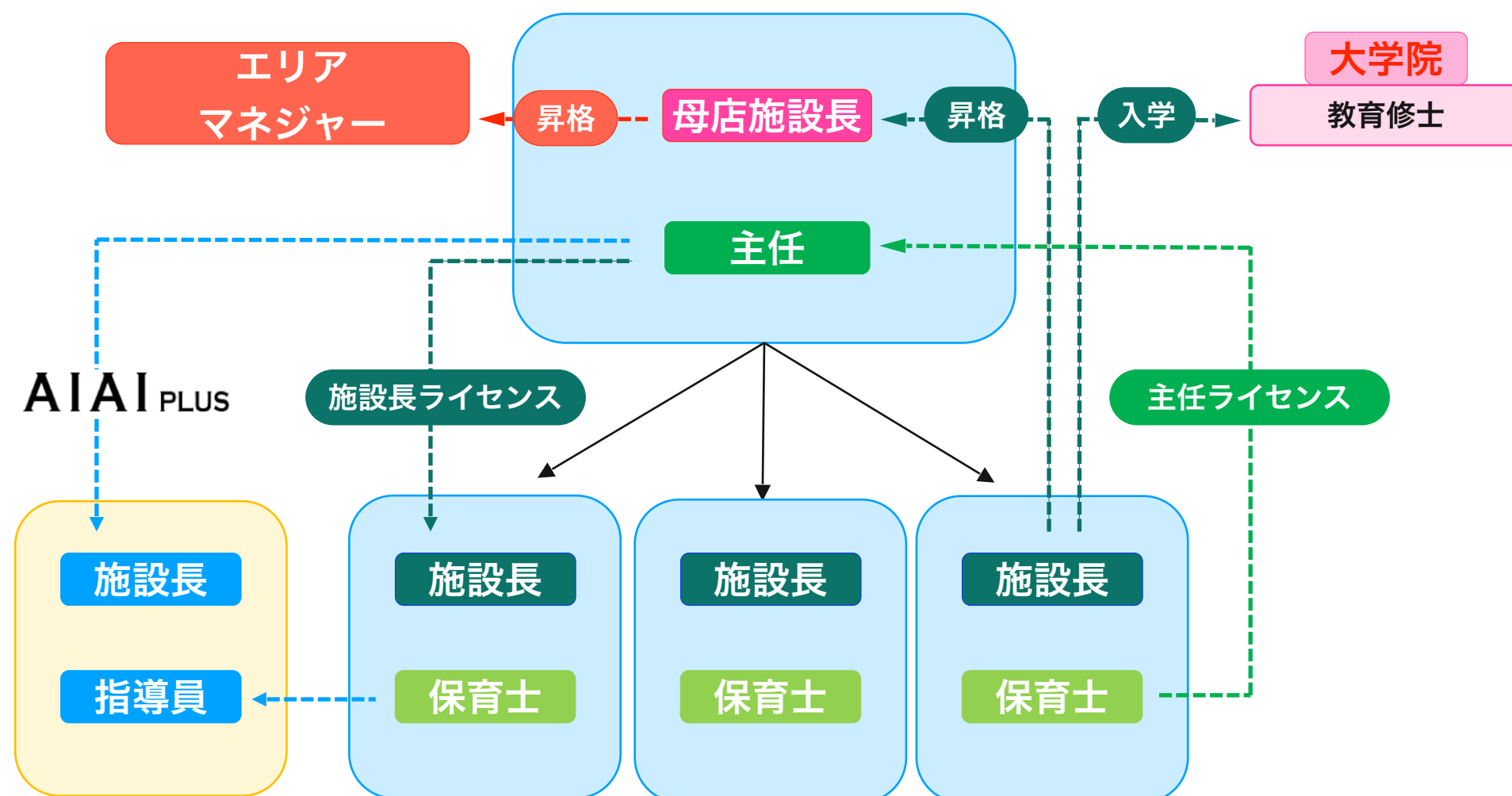
© AIAI Group Corporation

大学院との包括連携協定による教育修士制度や自社ライセンス制度による保育士のキャリアアップをサポート。

さらに、母店と連携したインスペクト（社内検査）により一般施設の人材育成と施設の品質管理をサポート。

キャリアモデル（例）

- | | | |
|---------|---|--------------|
| ① 保育士 | → | 主任 |
| ① 保育士 | → | AIAI PLUS指導員 |
| ② 主任 | → | 施設長 |
| ② 主任 | → | AIAI PLUS施設長 |
| ③ 施設長 | → | 教育修士（大学院） |
| ③ 施設長 | → | 母店施設長 |
| ④ 母店施設長 | → | エリアマネジャー |



ライフスタイルにあわせた働き方の選択

施設で働く職員のライフステージや働き方などの志向に応じたワークスタイルの選択肢を増やし、仕事と家庭の両立をサポートすることで長く活躍できる職場環境を構築。

	AIAI NURSERY	AIAI PLUS
運営時間	7:00～20:00	9:00～18:00
運営形態	集団保育	個別療育・小集団療育
施設あたり職員数（頭数）	約20人	約10人
年間行事	あり	なし

中期経営計画2023～2025の進捗状況（定性情報まとめ）

AIAI

© AIAI Group Corporation

2025年3月期の業態別の取り組み進捗のまとめは下記のとおり。

業態	内容
AIAI NURSERY	▶新規開設は計画通り2024年4月に3施設を開設。他方、収益性向上を図るため、2025年3月末をもって小規模保育施設を2施設を事業譲渡。2025年3月末の施設数合計は87施設。 ▶保育 × 教育 シナジーの発揮に向けて、思考教育、知識教育、運動教育の保育カリキュラムを整備・導入。選ばれる園としての取り組みを引き続き推進し、園児数充足率は96％程度で着地。
AIAI PLUS	▶2024年度は新たに1施設を開設し2025年3月末の施設数合計は21施設。作業療法士等の有資格者の採用も継続的に実施。 ▶2024年10月には保育所等訪問支援に特化したAIAI VISIT 東京を新たに開設。

目標・指標等の進捗状況（定量情報まとめ）

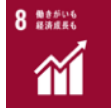
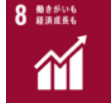
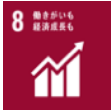
2025/3期について、

- ・売上高及び営業利益は、前回開示の計画から園児数が想定を上回って推移したこと等から売上高130億円、営業利益733百万円で着地。
- ・投資予定額は、2025/3期の開設施設数が当初の見通しから1施設増加したことから、計画を150百万円上回って推移。
- ・出店数は計画通り進捗した一方、保育×教育シナジーの効果もあり、AIAI NURSERYの利用者数は計画を上回って着地。
- ・年間保育所等訪問支援実施数は計画を大幅に上回る11,493回で着地。2026/3期以降、さらなる拡大に向けたビジネスモデルの構築に取り組む。
- ・人的資本を重視した取り組みを推進し、社内ライセンス取得者数累計は計画を上回って推移。

	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 計画	2023.5.19公表 中期経営計画 2026/3期
売上高（連結）	118億円	130億円	137億円	120～130億円
営業利益（連結）	532百万円	733百万円	500百万円	300～500百万円
投資予定額（連結）	570百万円 *AIAI NURSERY 558百万円 （設備改修を含む） *AIAI PLUS 12百万円	351百万円 • AIAI NURSERY 351百万円	110百万円 *AIAI NURSERY 110百万円	26/3期までの 3か年累計 680百万円 *AIAI NURSERY 660百万円 *AIAI PLUS 20百万円
出店数	8施設 *AIAI NURSERY開設 5施設* *AIAI PLUS開設 3施設	5施設 *AIAI NURSERY開設 3施設 *AIAI PLUS 開設 1施設 *AIAI VISIT 開設 1施設	1施設 *AIAI NURSERY開設 1施設	24/3期～26/3期の 3か年で *AIAI NURSERY開設 8施設 *AIAI PLUS開設 4施設
利用者数 （AIAI NURSERY）	4,792人	5,022人	5,300人	4,500人～5,000人程度
年間保育所等訪問支援 実施数	6,140回	11,493回	16,000回	6,000回程度
社内ライセンス取得者数 累計	77人	102人	110人	26/3期までに 110人程度

ESG／SDGsの取り組み

グループビジョン「人口問題を解決する」を根幹として、持続可能な社会の実現に向けた事業を推進。財務的な価値の向上とともに非財務価値の向上の取り組みにも引き続き注力。

創出価値・目指す姿		貢献するSDGsのゴール				取り組み例
福祉・教育の充実	質の高い保育の提供 - 療育体制の充実 - 小学校就学を見据えた教育の充実等					・ AIAI NURSERYとAIAI PLUSとの連携 ・ 幼児教育プログラムの充実・展開 ・ AIAIレポートを通じた家庭との緊密な連携
	地域の保育ニーズへの貢献					・ 地域ニーズに対応した保育施設の展開 ・ 地域と連携した子育て支援（保育所等訪問支援） ・ 雇用促進
人的資本	新たな価値の共創					・ 他社との協業の推進 ・ あらゆるステークホルダーとの連携の強化
	人の育成					・ 社内研修体制の充実 ・ ライセンス制度によるキャリア形成支援 ・ 社外プロジェクトへの参加
	女性活躍推進／多様な働き方の実現					・ ライフスタイルに応じた働き方の整備 ・ 女性リーダーの継続的育成
	働きやすい職場環境					・ 出産、育児、介護と両立して働きやすい環境整備 ・ 労働安全衛生・労働マネジメントの推進強化 ・ 健康経営の推進
地球環境の保全	環境負荷の低減					・ 環境負荷の低い施設 ・ ペーパーレスな業務体制 ・ 食品ロス・廃棄物削減
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化					・ 社内検査制度（インスペクト）の充実 ・ 上場後3年を経過しJ-SOXへの対応のさらなる強化

2026年3月期 業績予想

AIAI

2026年3月期業績予想

売上高は新規施設の開設及び譲受、及び保護者ニーズを踏まえた取り組みの更なる推進等により既存施設の稼働が高まると見込まれることから137億円。営業利益は「AIAI三育園」の更なる拡大に向けたM&A手数料の増額、2025年3月期から実施した株主優待に関する費用も踏まえて5億円と予想。新規開設施設数の減少から開設補助金の収入が減少するため経常利益は4.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益は2.6億円を見込む。

(百万円)	2026年3月期	
	予想	売上比
売上高	13,700	100%
営業利益	500	3%
経常利益	490	3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	260	2%

* 単位未満切捨、小数点以下四捨五入

(参考) 認可保育施設の収益構造

認可保育施設の運営にかかる補助金は売上高に計上される一方で施設開設にかかる補助金は営業外収入に計上。
施設開設にかかる補助金収入が施設開設準備にかかる費用を上回ることが多いため一般的に認可保育施設の新規開設数が増加すると営業外収支が改善する傾向。

			計上科目
収入	委託費・運営補助金	園児や保育士に関する補助金、施設の賃借に関する補助金等	売上高
	施設開設にかかる補助金	新規開設の投資額に対する一定割合の補助金	営業外収入
費用	運営にかかる費用	保育園の運営にかかる人件費や物件費	営業費用
	施設開設準備にかかる費用	当社グループでは新規開設のための支出のうち費用処理したものは営業外費用に計上	営業外費用

2025年3月期 連結決算の概況

AIAI

業績の概要（損益計算書）

新たにAIAI NURSERY3施設を開設したほか、既存施設においても幼児教育導入効果で園児数の充足率が向上、及び運営委託補助金の年度末精算等により売上高は13,071百万円を計上。保育士の処遇改善による人件費増加、「AIAI三育圏」拡大に向けたM&A手数料、及び株主優待費用が増加したものの、営業利益は733百万円と大幅に増加、経常利益は872百万円で着地。上記の営業利益が増益したものの特別損失（減損損失）により親会社株主に帰属する当期純利益は421百万円と微増。

(百万円)	当初予想 (2024.5.17公表)	修正予想 (2025.4.30公表)	2025年3月期	
			実績	売上比
売上高	12,100	13,000	13,071	100.0%
売上総利益	非開示	非開示	2,138	16.4%
営業利益	500	730	733	10.7%
経常利益	600	870	872	6.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	400	420	421	3.0%

・ 単位未満切捨、小数点第2位四捨五入

2025年3月期新規開設施設

AIAI NURSERY 3施設



AIAI NURSERY 中国分



AIAI NURSERY 下志津



AIAI NURSERY 千田

AIAI PLUS 1施設



AIAI PLUS 新百合ヶ丘

AIAI VISIT 1施設



AIAI VISIT 東京

6. リスク情報

AIAI

主要なリスク及び対応策

*下記以外のリスクは有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

分類	リスクの内容	顕在化の可能性／時期	顕在化した場合の影響度	対応策
利用者の減少	保育事業及び介護事業は、国内の居住者を対象とした事業であるため、国内の人口や社会構造、家族形態、労働需給、ライフスタイルの変化等に伴い利用者の増減が生ずる事業です。 今後、国内においては少子化及び人口減少が見込まれますが、都市部においては、保育のニーズは高い水準が継続すると見込まれることから、当社グループの保育事業は東京都23区、千葉県内、大阪市内に集中して施設展開をしております。 しかしながら、今後施設展開をしている地域において、想定していない大きな人口減少や社会構造の変化等が生じた場合は、施設利用者が減少し、業績に影響を与える可能性があります。	中 / 長期	中	ブランド力の向上を図るとともに提供プログラムやサービスの充実化によって差別化に取り組み、利用者には選ばれる施設の展開を図って参ります。
国や自治体による方針の変更や関連法規制等の改定等	今後、国や自治体の方針に変化が生じ、補助金の削減や制度の廃止等、株式会社による認可保育園の開設、既存の公立保育所の民営化が推進されなくなった場合、当社グループにおける保育事業の拡大が止まり、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。 また、介護事業は介護保険法などをはじめとする各種関連法令改定によって影響を受ける事業であり、介護保険制度は定期的な見直し改定が行われております。今後、介護保険制度の改定により報酬引き下げ等の事象が発生した場合、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	中 / 中期	小	政府の政策動向を見極めるとともに、認可保育園以外の事業の柱を育成し、持続的な成長に努めます。 また、介護施設の運営方法等を不断に見直し、高品質なサービスを提供しつつ利益を生み出せるよう努めます。
人材の確保及び育成	当社グループでは、新規施設の増加に伴い、保育士、児童指導員などの資格や要件を満たした人材の確保と育成が必要となっております。そのため、当社グループでは、採用担当の人員を増員し、幅広い採用活動を行いながらキャリアプランに沿った研修を年度を通して行い、人材の育成に取り組んでおります。しかしながら、その採用と育成が施設開設の速度に対応できない場合には、開設計画に遅れが生じ、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	中 / 中期	小	計画的な人材の採用と育成に努めるとともに、優秀な人材を確保できるよう、働きやすい環境の整備に努めます。
保育市場の縮小	テック事業においては、主に保育事業者を対象とした保育園運営管理システムの販売等を行っております。したがって、保育市場が縮小した場合は、当該システムの需要が減退し売上高が減少するなどして、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	大 / 短～中期	小	リソースの再配置を進めるとともに、新サービスの提供による売上高の維持・向上に努めます。

■免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。

■開示時期

本資料の次回のアップデートは、2026年5月頃を予定しています。